

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

＜第16週＞インフルエンザの定点当たり報告数は第12週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い／その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-10

＜麻しん＞

第16週の報告数は71で、前週の報告数34を大きく上回り、2005年、2006年の報告数の最大値をも大幅に上回った



病原体情報
P.11-14

感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン／インフルエンザウイルス 2006/07シーズン



速報
P.15-21

細菌性赤痢－2006年(2007年3月31日現在)／麻しん家族内感染事例とその対応－堺市



海外感染症情報

＜今週は該当記事はありません＞



感染症の話
P.22

＜今週はお休みです＞



読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞



グラフ総覧(16週)
P.23-29



16週のデータ
P.30-42



発生動向総覧

※2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

<第16週コメント> 4月25日集計分

◆全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核 154例

3類感染症: 細菌性赤痢 12例

(感染地域: 埼玉県8例*, インド2例、スリランカ1例、パキスタン1例)

*第15週と同一の知的障害児施設における集団発生

腸管出血性大腸菌感染症 15例(うち有症者7例、HUSなし)

感染地域: 鳥取県3例、高知県2例、千葉県1例、東京都1例、石川県1例、奈良県1例、広島県1例、熊本県1例、千葉県/韓国1例、国内(都道府県不明)3例

年齢群: 10歳未満(1例)、10代(2例)、20代(4例)、30代(2例)、50代(1例)、60代(4例)、70代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(4例)、O157 VT2(4例)、O111 VT1(1例)、O150 VT1(1例)、その他/不明(5例)

腸チフス 1例(感染地域: ミャンマー)

パラチフス 1例(感染地域: インド)

4類感染症: E型肝炎 1例(感染地域: 北海道、感染源: 焼肉)

A型肝炎 2例(感染地域: 東京都1例、インド1例)

デング熱 3例(感染地域: すべてインドネシア)

レジオネラ症 5例(すべて肺炎型)

年齢群: 50代1例、70代2例、80代2例

感染地域: 北海道3例(うち1例温泉)、千葉県1例、愛知県1例

5類感染症: アメーバ赤痢 9例(腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ症3例)

感染地域: 国内8例、シンガポール1例

感染経路: 経口2例、性的接触(異性間)1例、不明6例

ウイルス性肝炎 1例(B型、感染経路: 不明)

急性脳炎 1例〔病原体不明(10代)〕

クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性プリオン病古典型)

後天性免疫不全症候群 17例(無症候8例、AIDS 6例、その他3例)

感染地域: 国内14例、ブラジル1例、ロシア/東南アジア1例、国外(国不明)1例

感染経路: すべて性的接触(異性間6例、同性間10例、異性間/同性間1例)

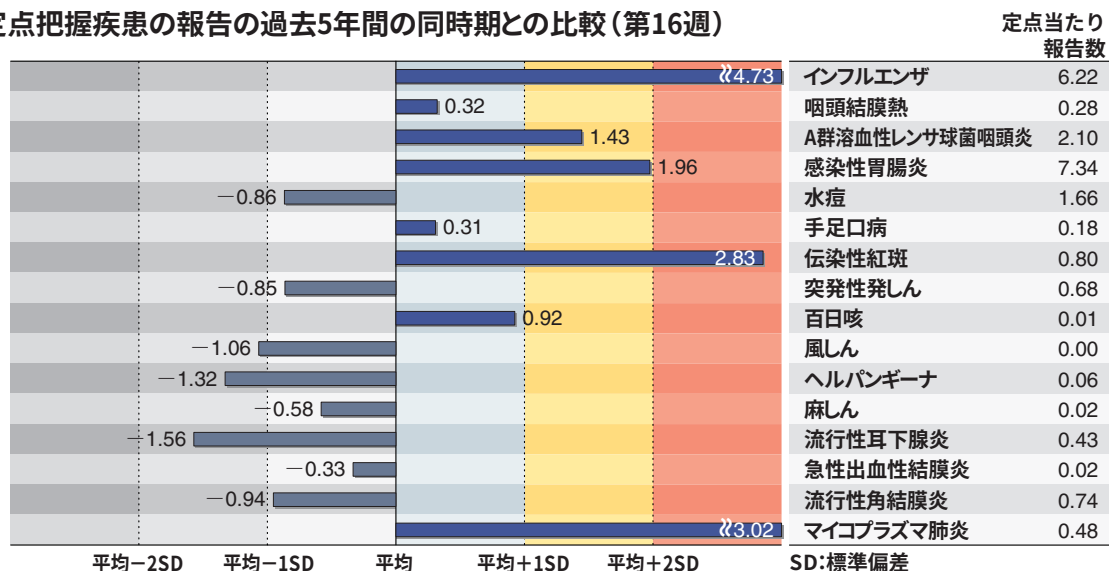
梅毒 4例(早期顕症I期1例、早期顕症II期2例、無症候1例)

(補)他に梅毒1例の報告があったが削除予定。また報告遅れとして、細菌性赤痢1例(感染地域: ブルキナファソ)、デング熱1例(感染地域: インドネシア)、急性脳炎3例[A型インフルエンザウイルス1例(10代)、単純ヘルペスウイルス1例(0歳)、病原体不明1例(5歳)]などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第16週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

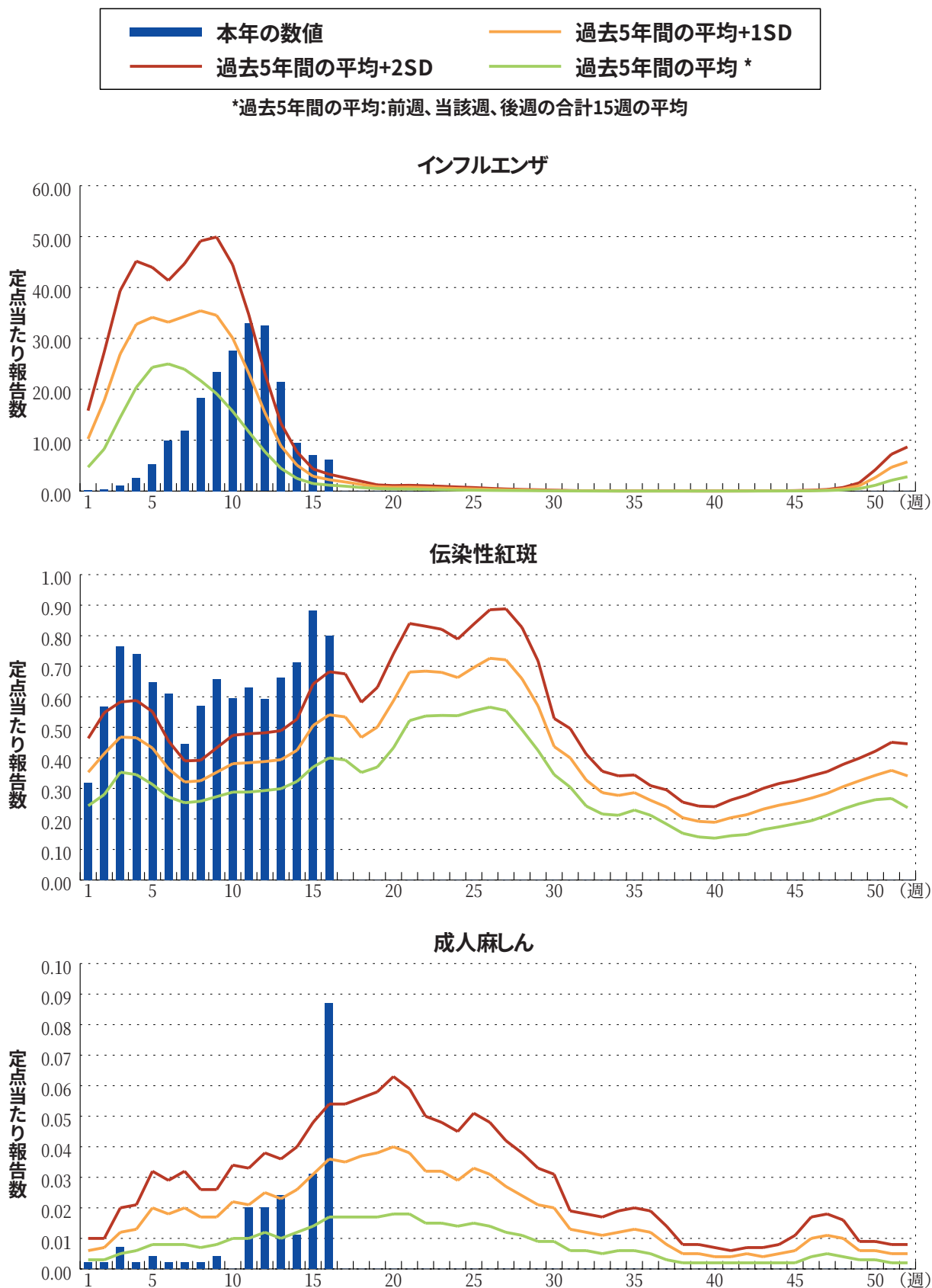
インフルエンザ: 定点当たり報告数は第12週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では秋田県(19.2)、岩手県(18.1)、青森県(16.1)、沖縄県(15.9)、宮崎県(12.9)が多い。

小児科定点報告疾患: **RSウイルス感染症**は286例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。**咽頭結膜熱**の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では島根県(1.1)、佐賀県(0.74)、青森県(0.69)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では富山県(5.9)、北海道(4.0)、鳥取県(3.7)、新潟県(3.7)が多い。**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福井県(18.3)、宮崎県(15.0)、大分県(14.7)、鳥取県(13.2)が多い。**水痘**の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(5.2)、鹿児島県(3.5)、沖縄県(3.4)が多い。**手足口病**の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では熊本県(1.5)、佐賀県(1.3)、鹿児島県(1.1)が多い。**伝染性紅斑**の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では富山県(3.1)、石川県(3.0)、北海道(2.2)、長野県(1.6)が多い。**百日咳**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では徳島県(0.19)、栃木県(0.17)、千葉県(0.08)が多い。**風しん**の報告数は増加した。都道府県別では神奈川県4例、埼玉県、千葉県から各2例、宮城県、秋田県、茨城県、兵庫県から各1例の報告であった。**ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では岩手県(0.33)、島根県(0.30)、熊本県(0.29)、が多い。**麻しん**の報告数は71例であり、第13週以降増加が続いている。都道府県別では東京都、埼玉県各14例、千葉県11例、神奈川県10例、栃木県、鹿児島県各4例、大阪府3例、宮城県、茨城県、愛知県、兵庫県各2例、奈良県、岡山県、香川県から各1例の報告があった。**流行性耳下腺炎**の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では秋田県(1.5)、三重県(1.3)、高知県(1.2)が多い。

基幹定点報告疾患: **マイコプラズマ肺炎**の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(3.9)、岡山県(2.6)、群馬県(2.1)が多い。**成人麻しん**の報告数は39例と2週連続で増加した。東京都12例、長野県6例、埼玉県5例、神奈川県、新潟県各3例、群馬県2例、山形県、福島県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、大阪府、広島県から各1例の報告があった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1～16週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

◆麻疹

麻疹は麻疹ウイルス(Paramyxovirus科Morbillivirus属)によって引き起こされる感染症であるが、空気感染(飛沫核感染)、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示し、その感染力は極めて強い。麻疹ウイルスに免疫を持たないヒトが同ウイルスに曝露・感染した場合、10日間前後の潜伏期間を経てカタル期(38℃前後の発熱、倦怠感、咳・鼻水等の上気道炎症状、結膜炎症状が2～4日間続く。経過中、頬粘膜の白歯対面付近にコプリック斑が出現する)、発疹期(一旦体温が下降した後39.5℃以上の高熱、頭部・顔面から四肢末端にまで広がる点状～小豆大の融合傾向のある紅斑性丘疹が出現し、3～4日間続く)、回復期(解熱し、発疹は退色し、色素沈着を残す。全身状態が改善する)と続き、合併症のない場合は軽快していく。合併症には肺炎、脳炎、中耳炎、クループ症候群、心筋炎、更には亜急性硬化性全脳炎(SSPE)等がある。先進国では致死率は低下しているものの、合併症発症率、入院率はわが国においても高く、未だ重篤な疾患であることには変わりはない。麻疹に罹患し、一度典型的な麻疹を発症した者は、通常は終生免疫が獲得され、再び麻疹を発症することはない(「麻疹の現状と今後の対策について」:http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/report2002/measles_top.html参照)。

麻疹を予防するためのワクチン(麻疹ワクチン、麻疹・風疹混合ワクチン、もしくは現在国内では使用されていない麻疹・おたふくかぜ・風疹混合ワクチン)は弱毒生ワクチンであり、その有効性(免疫獲得率)は95%以上と高いが、ワクチンを接種しても免疫を獲得できない者が数%存在する。また、近年麻疹発症者数が大きく減少したことによって麻疹ウイルスに曝露・感染する機会が激減し、麻疹に対する免疫のブースター効果(免疫増強効果)を得る機会が少なくなった。そのため、ワクチン接種によって一旦免疫を獲得したワクチン既接種者の一部においては、麻疹ウイルスに対する免疫が減衰している場合もある。今回の埼玉県、東京都等の関東地域を中心とした麻疹の流行では、過去の流行と比較して10代、20代での発病者の割合が増加しており、高校や大学での集団発生事例の調査からは、麻疹未罹患でワクチン未接種者の群からと、発病率は低いものの麻疹未罹患でワクチン1回接種の群からの発病者もみられている。

平成18年6月2日からは、以下の(1)、(2)、(3)の3つを目的として、麻疹・風疹混合ワクチンもしくは麻疹ワクチンの2回目接種(接種対象は5～7歳未満で小学校就学前の1年間の者)が定期予防接種として開始された。『(1)1回のワクチン接種で免疫が獲得できなかった者に免疫を付与する、(2)1回のワクチン接種で免疫が獲得されたものの、その後の時間経過と共に免疫が減衰した者に再び刺激を与え、免疫を強固なものにする、(3)1回目に接種しそびれた者にもう一度ワクチン接種の機会を与える』。しかしながら、この2回の接種を済ませたものの大半は2007年度の小学校1年生に限定されており、今回の麻疹の流行を阻止するための効果をあげるには至っていない。

感染症発生動向調査によると、2007年第16週の全国約3,000カ所の小児科定点からの麻疹の報告数は71(定点当たり報告数0.024)であり、前週の報告数34(定点当たり報告数0.011)を大きく上回り、2005年、2006年の報告数の最大値(ともに41)をも大幅に上回った(図1)。都道府県別では東京都、埼玉県各14、千葉県11、神奈川県10、栃木県、鹿児島県各4、大阪府3、宮城県、茨城県、愛知県、兵庫県各2、奈良県、岡山県、香川県から各1の順であり、東京都、埼玉県を中心とした関東地域からの報告数は55と全報告数の約77%を占めている。2007年第

1週以降の小児科定点からの累積報告数は282であり、埼玉県93、東京都53、千葉県26、神奈川県24、大阪府14、愛知県13と埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県を中心とした関東地域や、関東以外では愛知県、大阪府等の大都市圏での患者発生が目立っている(図2)。これまでに累積報告数の多い都県の患者報告数の週別推移をみると、現在の関東地域の流行は2006年末に埼玉県を中心に開始し、その後2007年に入って東京都、千葉県、神奈川県等の関東地域に拡大しているものと思われる(図3)。累積報告数の年齢別割合では、0歳(16.0%)、1歳(16.7%)と依然として0～1歳児の発病者の割合は高いものの、例年全報告数の60%前後を占めてきた0～4歳からの報告割合は43.3%と減少し、かわって10～14歳(30.1%)の報告割合が増加している。全体的には、10～14歳を中心とした比較的年長者の割合は流行の拡大とともに更に増加傾向にある(図4)。

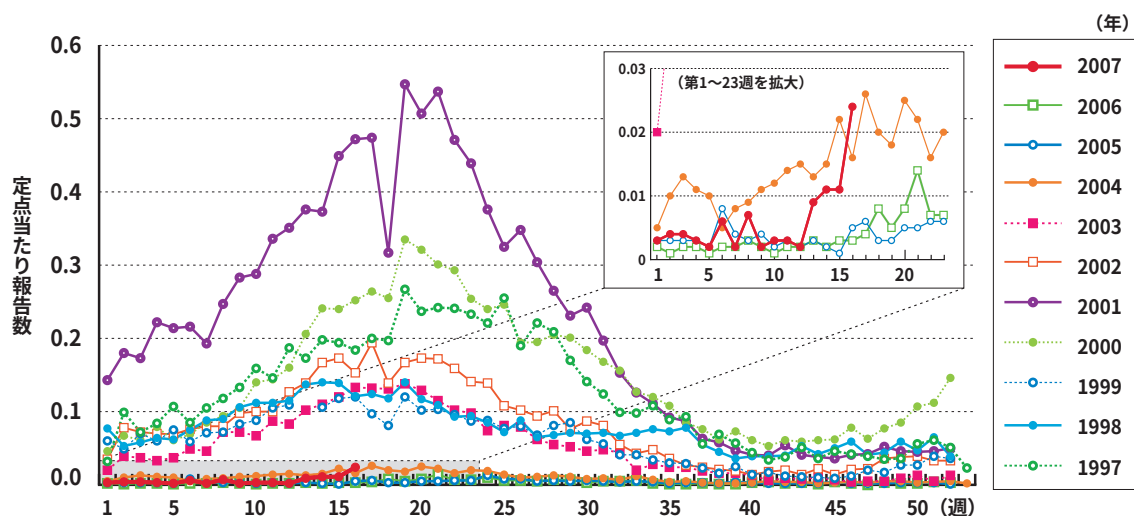


図1. 麻疹の年別・週別発生状況(1997年～2007年第16週)

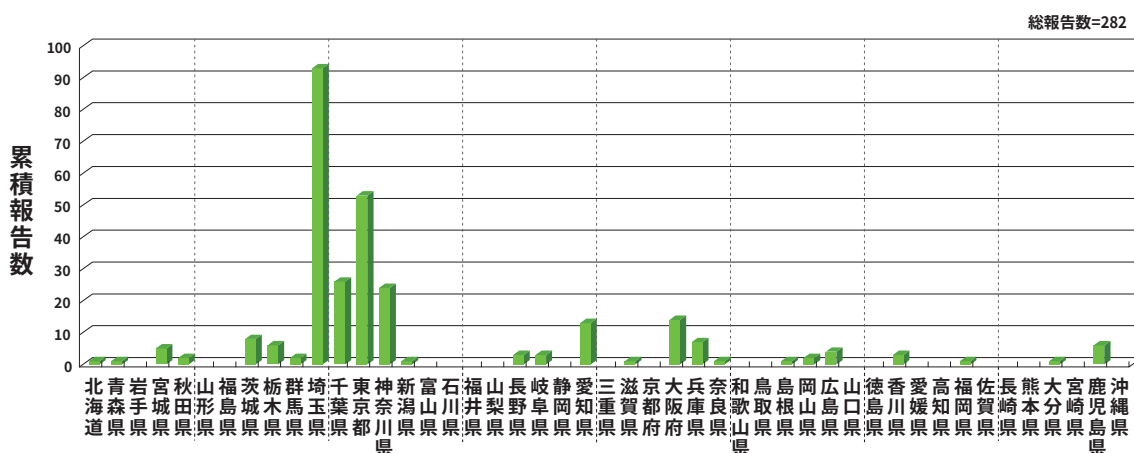


図2. 麻疹の都道府県別累積報告状況(2007年第1～16週)

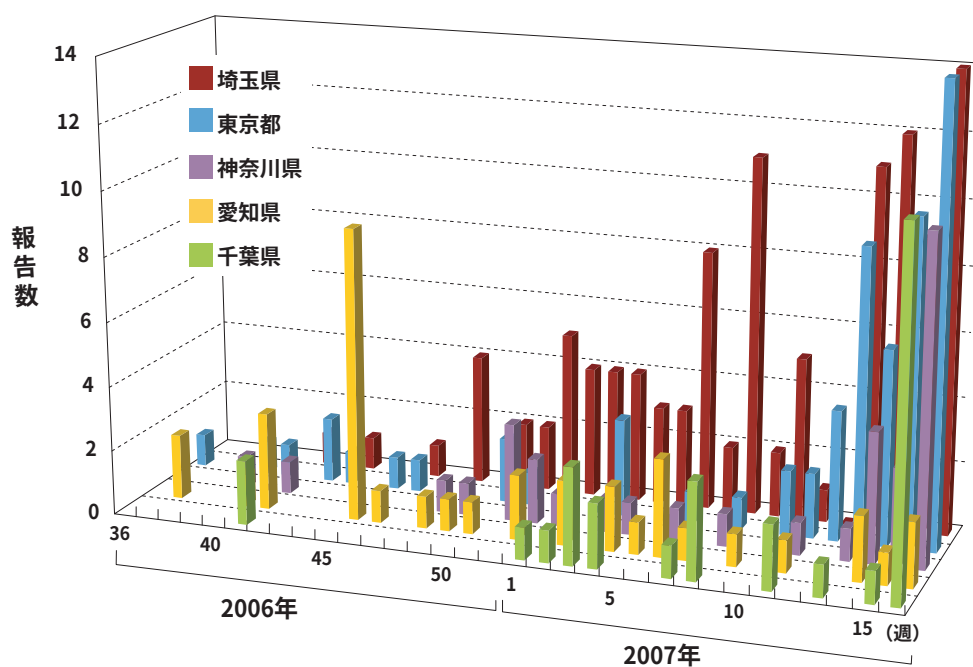


図3. 主要都道府県における麻しんの報告の週別推移(2006年第36週～2007年第16週)

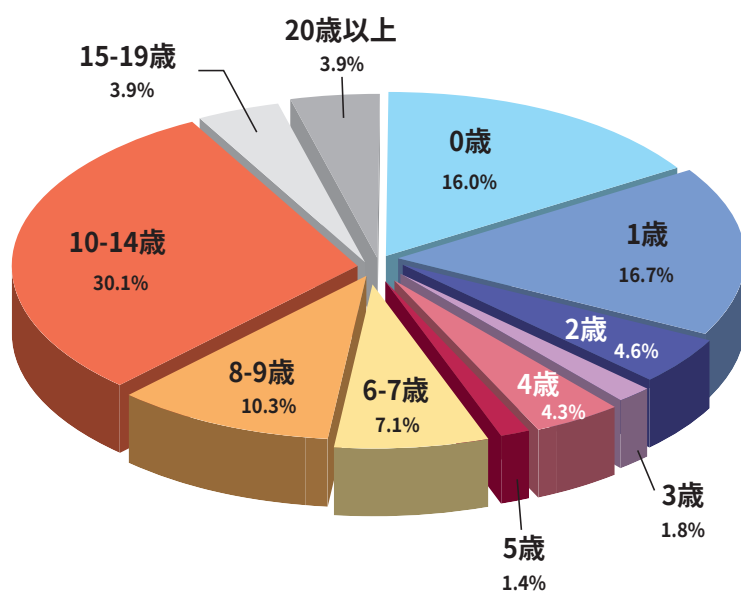


図4. 麻しんの報告症例の年齢群別割合(2007年第1週～第16週)

一方、第16週の全国約450カ所の基幹定点からの成人麻しん(届出対象は15歳以上)の報告数は39(定点当たり報告数0.087)となり、2002年以降の最高値となった(図5)。都道府県別では東京都12、長野県6、埼玉県5、神奈川県、新潟県各3、群馬県2、山形県、福島県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、大阪府、広島県から各1の順であった。また、2007年第1週から16週までの累積報告数は102であり、東京都38、埼玉県、神奈川県各12、長野県9、宮城県8、茨城県5と東京都、埼玉県、神奈川県を中心とした関東地域や長野県、宮城県からの報告が多い(図6)。成人麻しん報告数の都県別の週別推移をみると、第11週以降に東京都を中心に報告数が急増していることがわかる(図7)。累積報告の年齢別では20～24歳(37.3%)、25～29歳(20.6%)、15～19歳(19.6%)となっており、20代の報告数が半数以上を占めており、30代前半までで全報告数の90%以上を占めている(図8)。

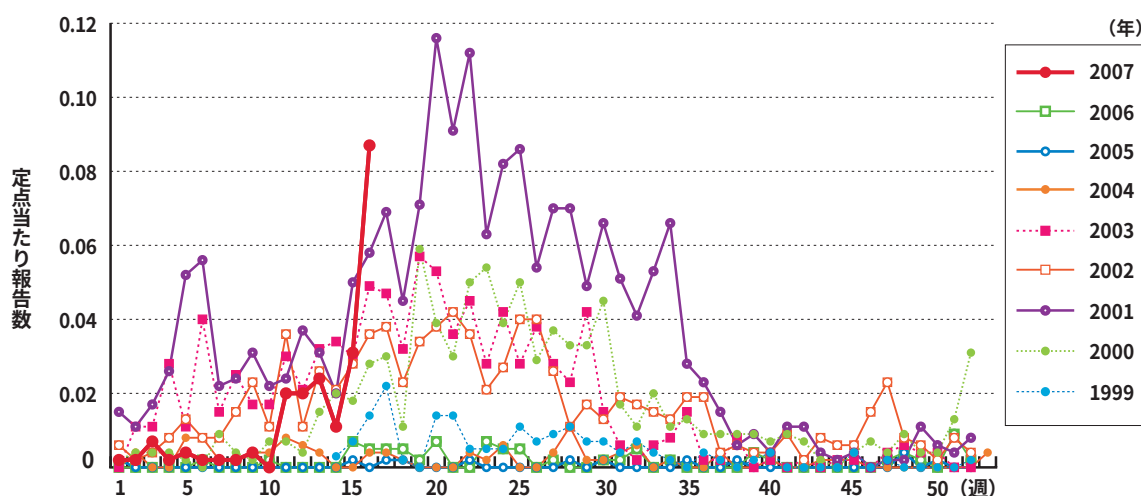


図5. 成人麻しんの年別・週別発生状況 (1999年～2007年第16週)

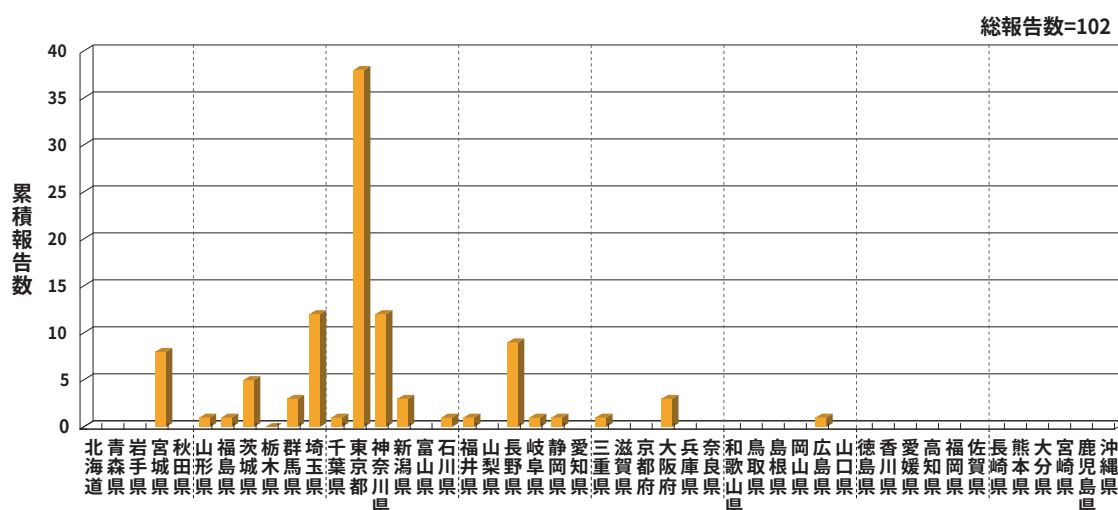


図6. 成人麻しんの都道府県別累積報告状況 (2007年第1週～第16週)

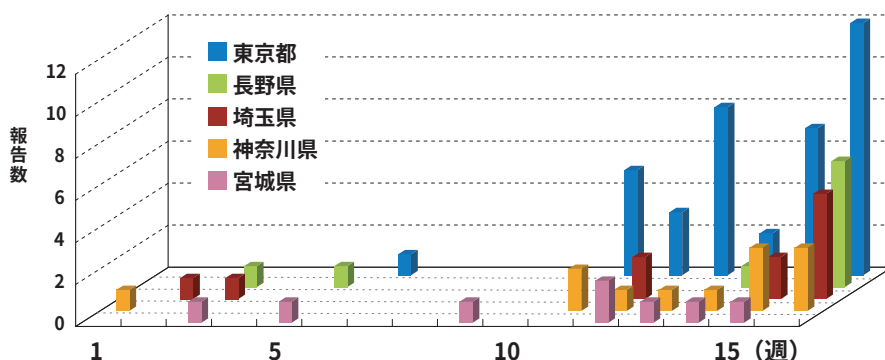


図7. 主要都道府県における成人麻しんの報告の週別推移(2007年第1週～第16週)

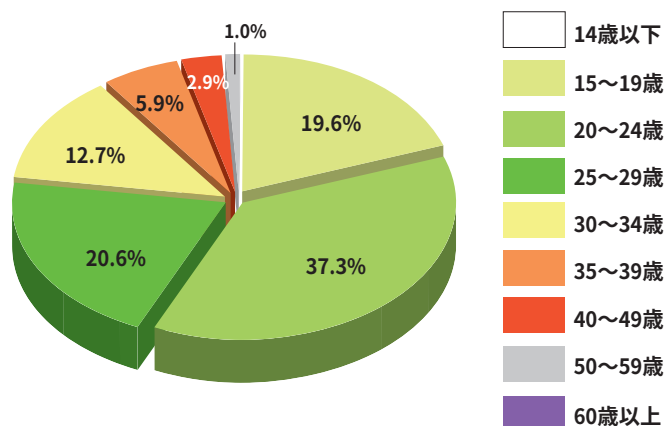


図8. 成人麻しんの報告症例の年齢群別割合(2007年第1週～第16週)

4月中旬過ぎの第16週現在では、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県を中心とした関東地域における麻しんの流行は更に拡大傾向にある。また、既に関東周辺地域や愛知県、大阪府等の大都市圏での麻しん患者発生の増加もみられつつある。今回の関東地域における麻しん流行の特徴は、10代、20代での患者発生数が増加していることである。基幹定点は全国に約450カ所と少なく、同定点からの報告によっている成人麻しんの患者発生報告数は、必ずしも実態を正確に反映しているものとはいえないが、成人麻しんの報告数は、既に2001年の大規模な流行時の水準に達しつつあり、従来の流行の中心であった乳幼児と比べても10代、20代の患者発生数は少なくないものと思われる。

ゴールデンウィークを迎えて、国内やあるいは海外に移動する人口が飛躍的に増大するものと予想される。10代、20代は従来の麻しん流行の中心であった乳幼児と比較するとその活動範囲は大きいために、現在流行中の麻しんウイルスの全国の地域への拡散や、場合によっては既に麻しんの『排除(elimination)』を達成している欧米諸国やオーストラリア、韓国等への麻しんの輸出例が新たに発生することも危惧される。今後麻しんの発生動向に対してはより一層の注意深い観察が必要であると共に、麻しんの流行阻止に向けた効果的な対策の実施が望まれる。

麻しんウイルスはヒトのみに感染し、ヒトからヒトへと感染伝播する。感染力はきわめて強く、唯一の予防手段はワクチン接種であるが、その有効性は高く、かつての天然痘のように、疾患そのものの世界的な撲滅も不可能ではないといわれている。実際に欧米諸国をはじめとする多くの国々では、麻しんは既に『排除』が達成された疾患であり、我が国においても2001年のような大規模な流行を2度と繰り返すべきではなく、2012年までに国内からの『排除』を目標としている。そのためには、国内における地域的な流行は積極的に阻止されなければならない。学校、施設等においては1例でも麻しん患者が発生した場合に迅速かつ適切な対応を実施することが望まれる。加えて、現在の流行下においては麻しんワクチン未接種で麻疹未罹患の方は、至急ワクチンを接種すべきである。また、従来の麻しん流行の中心である乳幼児における患者発生を増大を阻止するために、1歳早期(1回目)と学童期前(2回目)のワクチン(麻疹・風疹混合ワクチンもしくは麻疹ワクチン)のより積極的な勧奨が重要である。

以下に、麻しん関連情報として感染症情報センターのホームページに掲載されている主な項目とそのURLを挙げる。麻しん対策として活用いただければ幸いである。

- 麻疹: <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>
 - 緊急情報
 - 関連情報(注目すべき感染症/速報「麻しん」、医療機関での麻疹の対応について、保育園・幼稚園・学校等での麻しん患者発生時の対応マニュアル)
 - 国内情報(麻疹の現状と今後の麻疹対策について、我が国の健常人における麻疹PA抗体保有率、他)
 - 病原微生物情報[IASR]麻疹特集
- 麻疹発生DB(データベース): <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/meas-db.html>
- 予防接種の話「麻疹」: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/b-measles.html>
- 年齢別麻疹、風疹、MMRワクチン接種率: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/atopics/atpcs001.html>
- 感染症の話「麻疹」: http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_03/k03_03.html
- 「麻疹・風疹ワクチンなぜ2回接種なの?」ポスター: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn01.html>
- 「麻疹風疹混合ワクチンを1歳のお誕生日のプレゼントにしましょう」ポスター: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn04.html>
- 「小学校入学準備に2回目の麻疹・風疹ワクチンを!」ポスター: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn07.html>
- 2006年度第2期麻疹・風疹ワクチン接種に関する全国調査ー2006年10月1日現在中間評価ー: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3252.html>



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

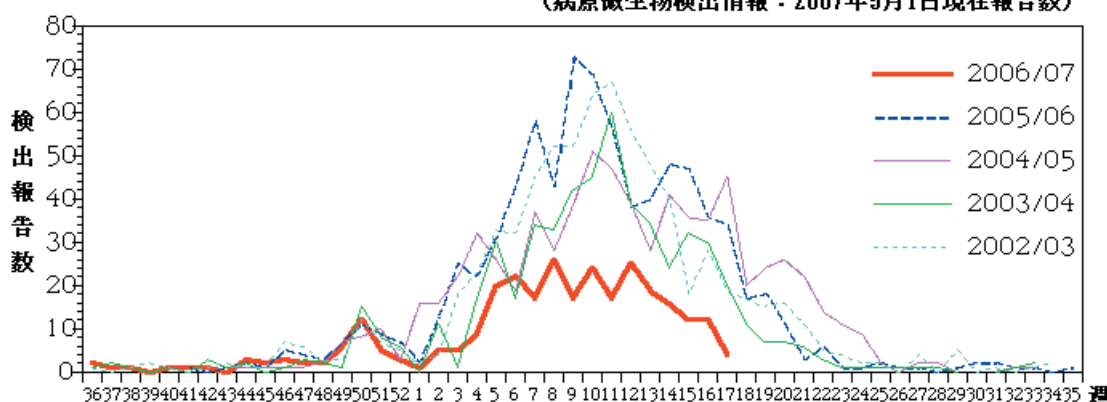
各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2007年5月1日現在報告分)

◆感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン

A群ロタウイルスの報告が例年同様冬季から春季に増加しつつあり、第36週からの累計では292件が、愛媛県35件、愛知県26件、千葉県、奈良県各25件、東京都24件、神奈川県20件、京都府18件、高知県13件、島根県、熊本県各10件、滋賀県9件など29都府県から報告されている。

週別ロタウイルスの検出報告数、過去4シーズンとの比較、2002/03-2006/07シーズン
(病原微生物検出情報: 2007年5月1日現在報告数)

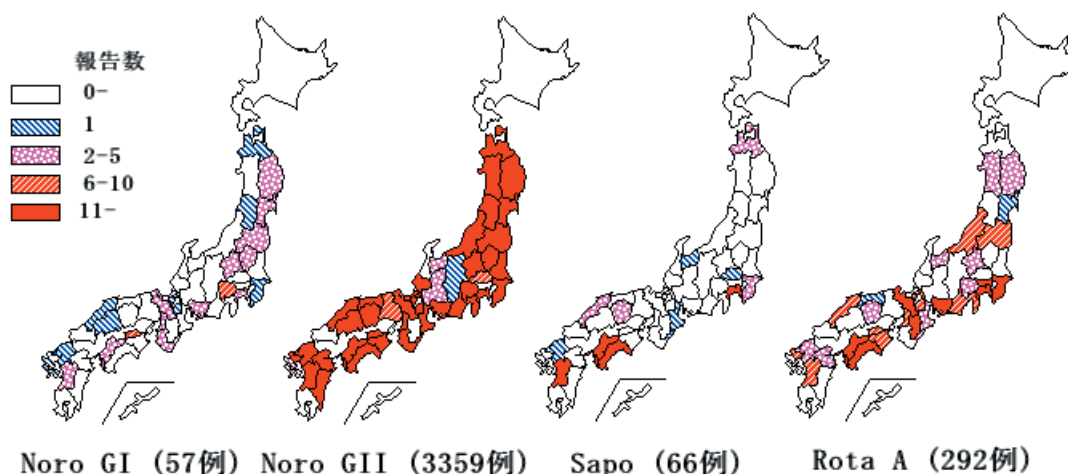


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を週に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2006/07シーズン
(病原微生物検出情報: 2007年5月1日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を週に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

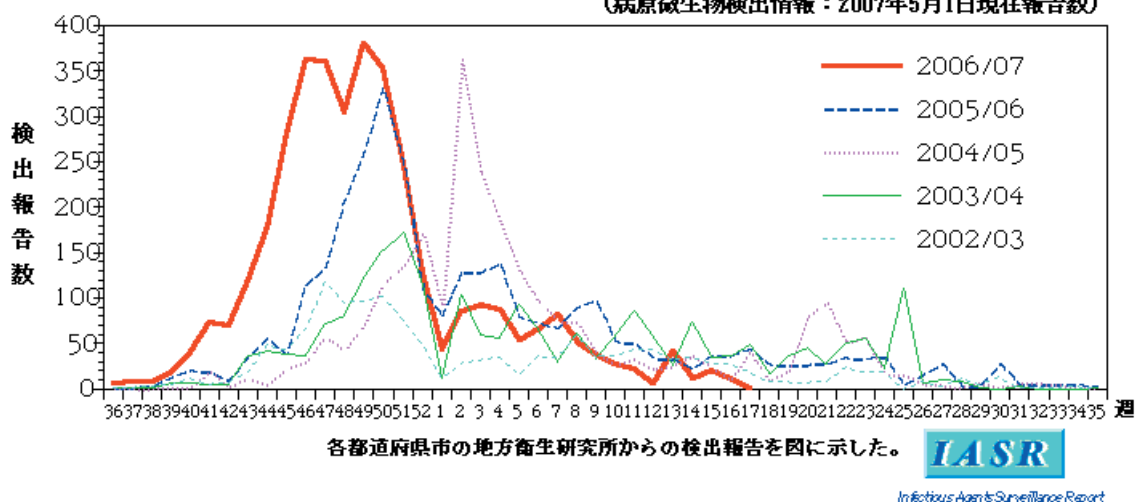
ノロウイルスの報告は例年より早く2006年第40週より増加し、第36週から2007年第17週までの累計ではノロウイルスgenogroup IIが3,359件となり、2005/06シーズン同期間の報告数(2,377件)を大きく上回っている。その他にgenogroup I 57件、サポウイルス66件が報告されている。

ノロウイルスgenogroup IIは大阪府449件、神奈川県293件、滋賀県275件、岩手県263件、京都府250件、愛媛県210件、広島県174件、静岡県153件、高知県128件、岡山県102件など40府県から報告されている。genogroup Iは香川県10件、大阪府5件など22府県から、サポウイルスは高知県17件、熊本県13件、神奈川県、愛媛県各11件など12県から報告されている。

また、ノロウイルスgenogroup IIによる施設内感染、食中毒などの集団発生の報告も大きく増加し、これまでに2006年9月6事例、10月70事例、11月348事例、12月267事例、2007年1月104事例、2月63事例、3月38事例、4月11事例、計907事例が報告されている(このうち10月1事例、11月2事例、12月4事例、3月1事例ではgenogroup IとIIを検出)。検出されたgenogroup IIのノロウイルスについて、さらに遺伝子型別まで実施された278事例中265事例はGII/4と報告されている。他にはGII/2が9事例(11月4事例、12月1事例、1月2事例、2月1事例、3月1事例)、GII/6が1事例(11月)、GII/9が2事例(10月1事例、3月1事例)、GII/13が1事例(2月)で検出されている。

なお、genogroup Iが12事例(10月1事例、11月1事例、12月3事例、1月2事例、2月4事例、3月1事例)で検出され、15事例(11月5事例、12月5事例、1月4事例、2月1事例)のgenogroupは不明である(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html>)。

週別SRSV(ノロウイルス、サポウイルス) 検出報告数、過去4シーズンとの比較、2002/03-2006/07シーズン
(病原微生物検出情報: 2007年5月1日現在報告数)

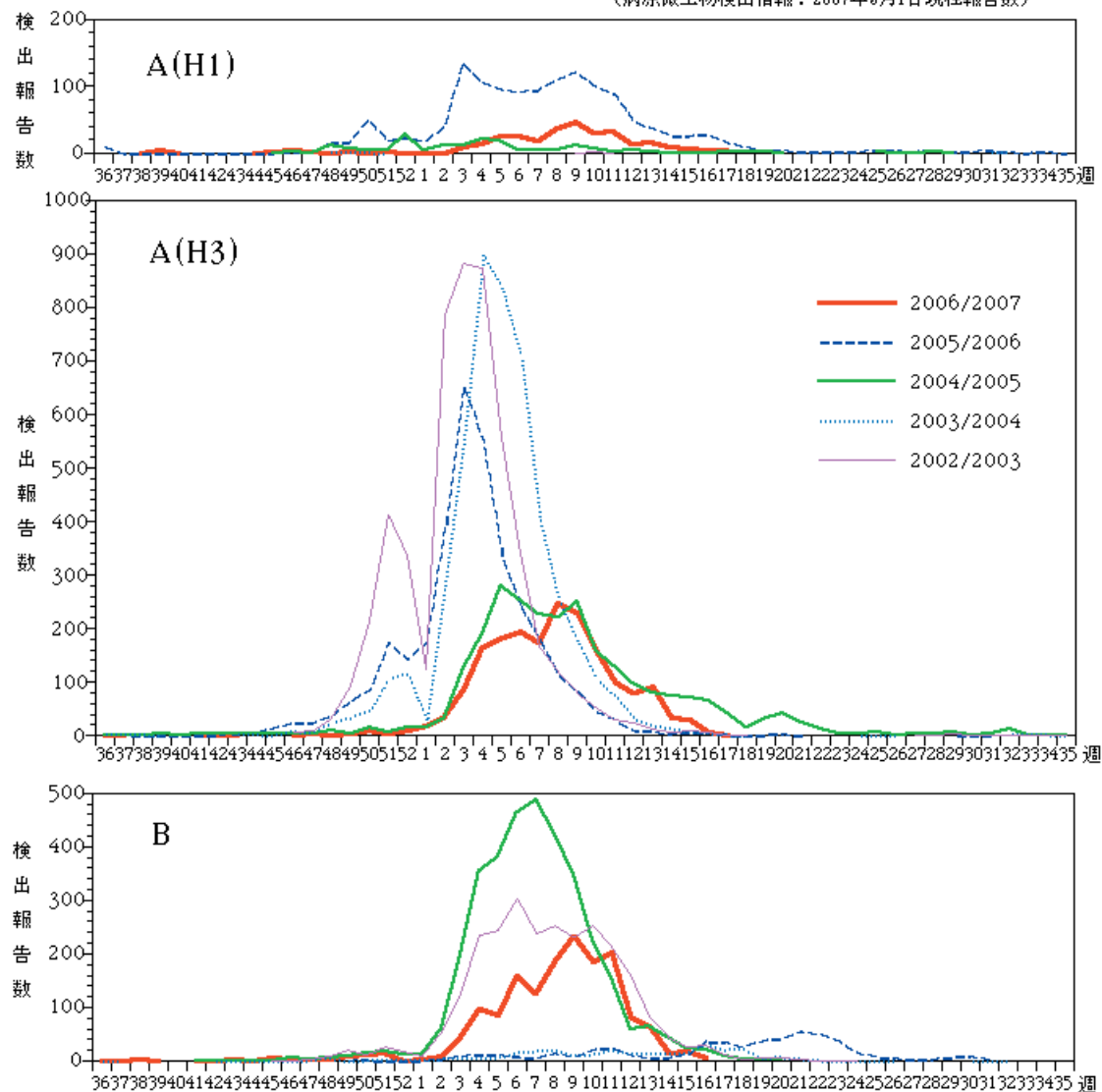


◆インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

例年より遅く2007年に入ってからAH3亜型が増加し始め、第3週以降はB型とAH1亜型も増加し、第9週以降はB型がAH3亜型の報告数を上回っている。

型別週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、過去4シーズンとの比較

(病原微生物検出情報: 2007年5月1日現在報告数)

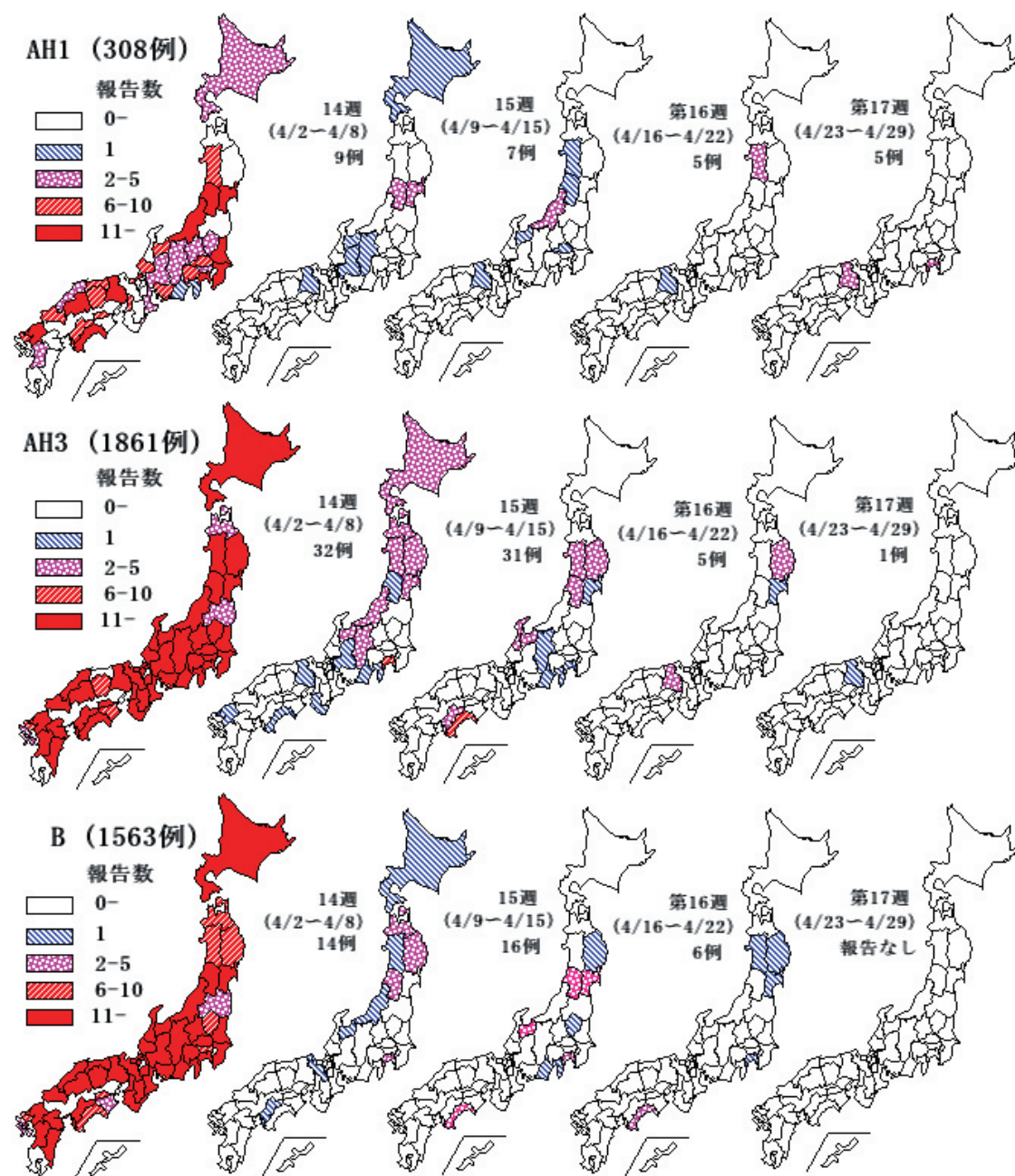


IASR
Infectious Agents Surveillance Report

2006年第36週からの累計ではAH1亜型が33都道府県から308件、AH3亜型が44都道府県から1,861件、B型が45都道府県から1,563件報告されている(PCR/抗原検出によるAH1亜型4件、AH3亜型20件、B型15件を含む)。

直近の4週間(2007年第14～17週)ではAH1亜型が秋田県、兵庫県各5件、神奈川県4件、山形県3件、宮城県、新潟県、富山県各2件など10道県から26件、AH3亜型が岩手県、富山県各9件、神奈川県、高知県各8件、宮城県、秋田県、石川県、兵庫県各4件、山形県、長野県各3件など18道県から69件、B型が富山県6件、神奈川県5件、岩手県、山形県、高知県各4件、宮城県3件、青森県、秋田県各2件など14道府県から36件報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2006/07シーズン
(病原微生物検出情報: 2007年5月1日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



◆細菌性赤痢－2006年(2007年3月31日現在)

細菌性赤痢は通常1～3日の潜伏期の後に、全身倦怠感、悪寒を伴う急激な発熱で発症し、発熱が1～2日続いた後、水様性下痢、腹痛、しぶり腹、膿粘血便などのいわゆる赤痢症状が出現する腸管感染症である。原因菌はShigella属の4つの菌種(*S. dysenteriae*、*S. flexneri*、*S. boydii*、*S. sonnei*)である。菌種は亜群とも呼ばれ、それぞれA群、B群、C群、D群に該当する。通常、*S. dysenteriae*、*S. flexneri*は典型的な赤痢症状を起こすことが多いが、*S. sonnei*では軽度の下痢、あるいは無症状で経過することが多いとされる。

細菌性赤痢は1999年4月1日施行の感染症法に基づく二類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届け出が義務づけられている(注)。過去の年間累積報告数は2000年843例、2001年844例、2002年699例、2003年473例、2004年604例、2005年553例であり、2006年の報告数(診断日が2006年第1～52週のもので、2007年3月31日までに報告されたもの)は488例であった(図1)。それらのうち疑似症患者が11例あり、無症状病原体保有者は24例であった。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者や、患者と接触した者に対する保健所の調査などによって発見された者である。

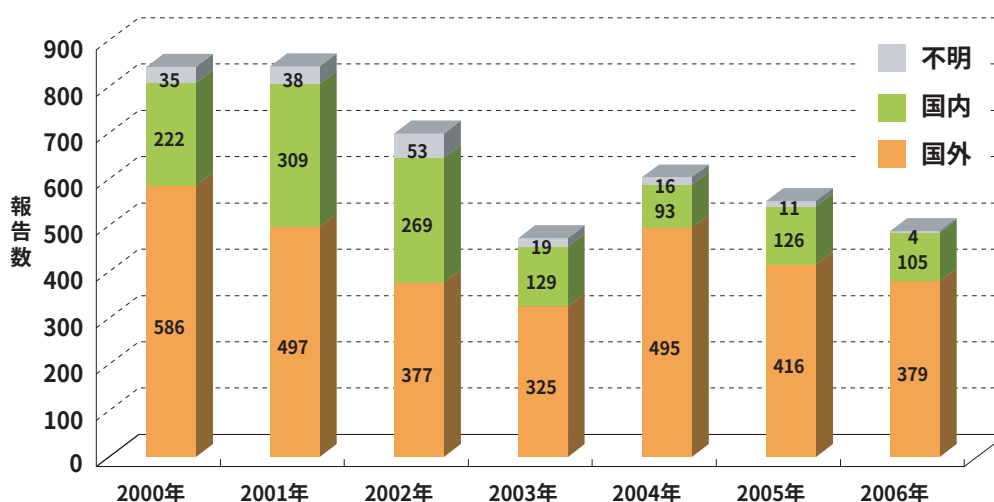


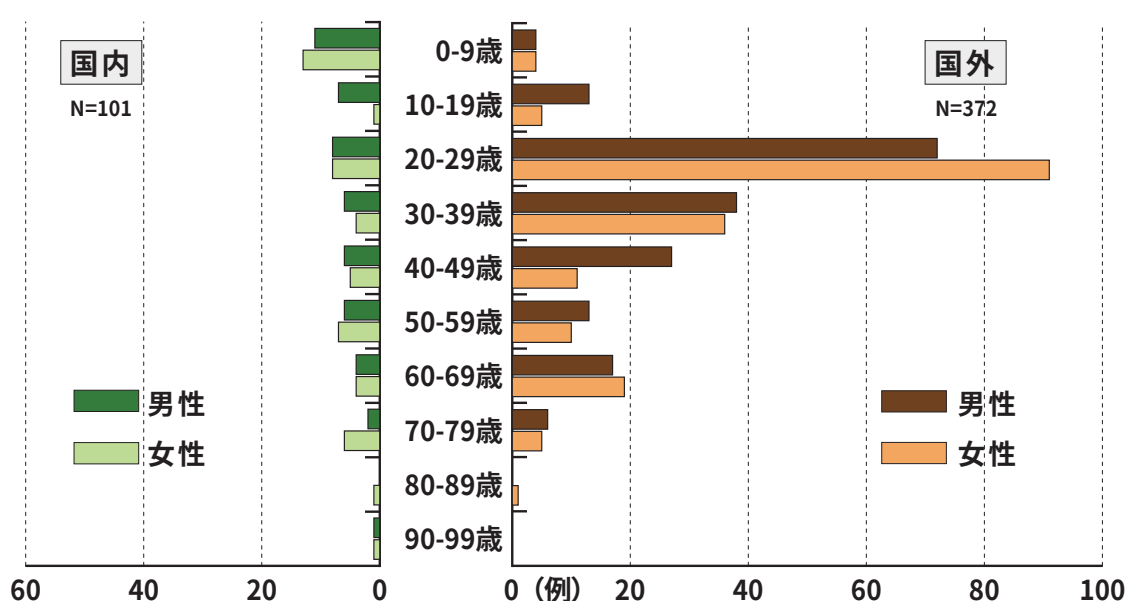
図1. 細菌性赤痢の年別・推定感染地域別発生状況(疑似症を含む)

疑似症を除く477例は、性別では男性243例、女性234例で、年齢中央値は29歳(1～92歳)であった。確定または推定として報告された感染地域は、国内101例、国外372例、不明4例であった。死亡例の報告はなかった。

国内を推定感染地域とする101例(男性51例、女性50例)について、年齢群別にみると、10歳未満24例、10代8例、20代16例、30代10例、40代11例、50代13例、60代8例、70代8例、80代1例、90代2例であり、10歳未満が最も多いが、それ以上のいずれの年齢群でもほぼ同様に幅広く発生している(図2)。年齢中央値は31歳であった。発症月別にみると(発症日が不明の12例を除く)、9月(20例)、10月(25例)に発症したものが多く(図3)、2006年9月には石川県で寿司店(12例)に関連して(病原微生物検出情報IASR Vol. 27 No.12 p.10-11, 2006参照 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/27/322/kj3222.html>)、また、10月には大阪府で保育施設(14例、うち1例は疑似症患者)に関連して(病原微生物検出情報IASR Vol. 28 No. 2 p.15-16, 2007 参照 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/28/324/pr3242.html>)集団発生があった。報告都道府県別では22都道府県から報告があり、大阪府(16例)、東京都(13例)、石川県(13例)、愛知県(10例)が多かった。検出された菌種は、*S. sonnei* 74例、*S. flexneri* 26例、*S. boydii* 1例で、*S. dysenteriae*の報告はなかった(図4)。

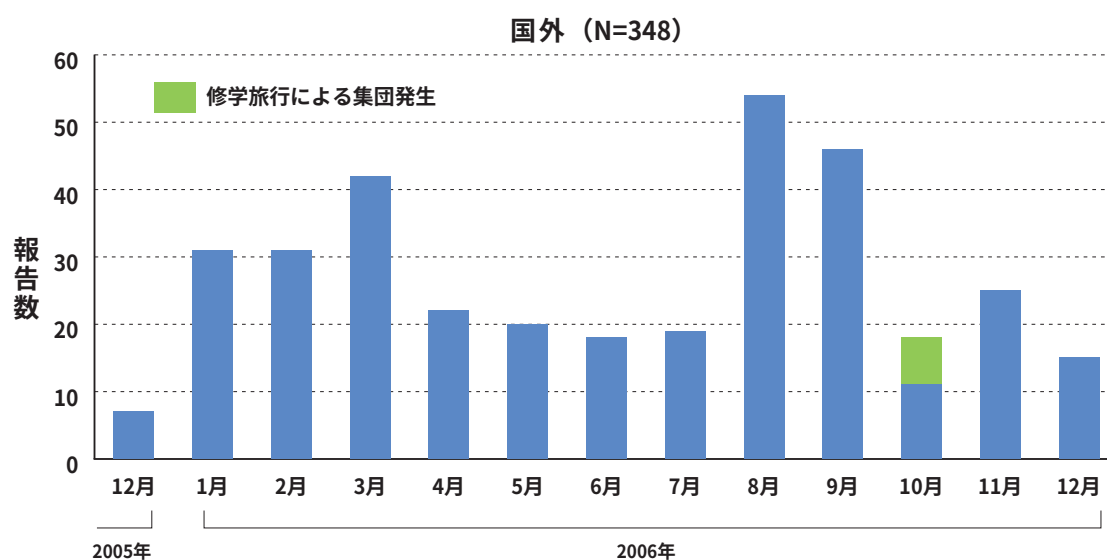
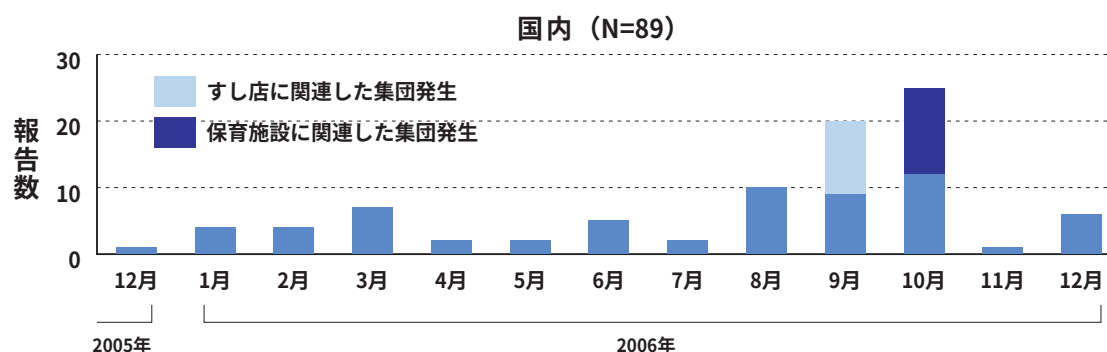
国外を感染地域とする372例(男性190例、女性182例)について、年齢群別にみると、10歳未満8例、10代18例、20代163例、30代74例、40代38例、50代23例、60代36例、70代11例、80代1例で、特に20代、次いで30代が多い傾向は従来どおりであり、両群で全体の64%を占めていた(図2)。年齢中央値は29歳であった。発症月別にみると、8月、9月、3月の順に多く、長期休暇を反映していると考えられる(図3)。感染地域別では、従来どおりアジアが316例と際立って多く、国外のみの85%、国内も含めた全体では66%を占める(図5)。アジアの中では南アジア(138例)、東南アジア(117例)が多い。また、マレーシア・シンガポールへの修学旅行(6例:菌陰性確認後の再発者1例あり報告上は7例。さらに帰国後に2次感染1例あり。)(病原微生物検出情報IASR Vol. 27 No. 3 p.8, 2006 参照 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/27/313/dj3136.html>)や、マダガスカルへのツアー(6例:3府県から報告)などの集団発生があった。検出された菌種は、*S. sonnei* 291例、*S. flexneri* 70例、*S. dysenteriae* 7例、*S. boydii* 4例であった(図4)。

日本を含む感染国毎の報告数を、菌種別に表に示した(表)。



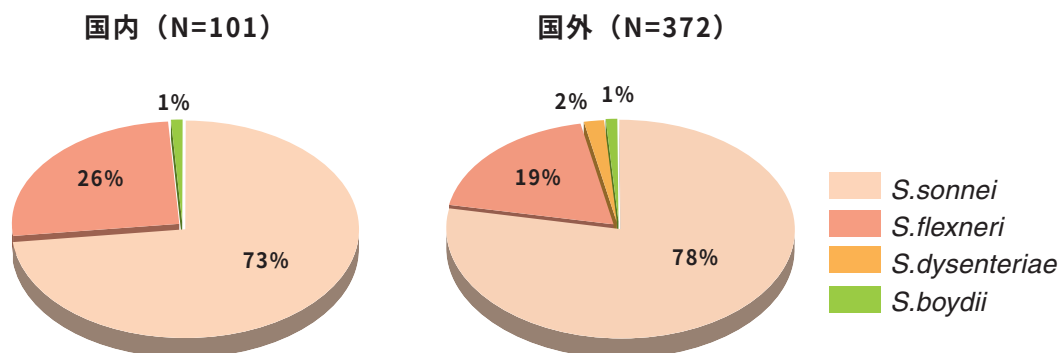
N=473 (疑似症患者、感染地域不明の15例を除く)

図2. 性別・年齢群別・推定感染地域別にみた細菌性赤痢の報告(2006年)



N=437 (疑似症患者、感染地域不明、発症月不明の51例を除く)

図3. 発症月別・推定感染地域別にみた細菌性赤痢の報告(2005年12月～2006年)



N=473 (疑似症患者、感染地域不明の15例を除く)
補) 感染地域不明の4例は、*S. sonnei* 2例、*S. flexnerii* 2例

図4. 感染地域別にみた細菌性赤痢の4菌種の分布(2006年)

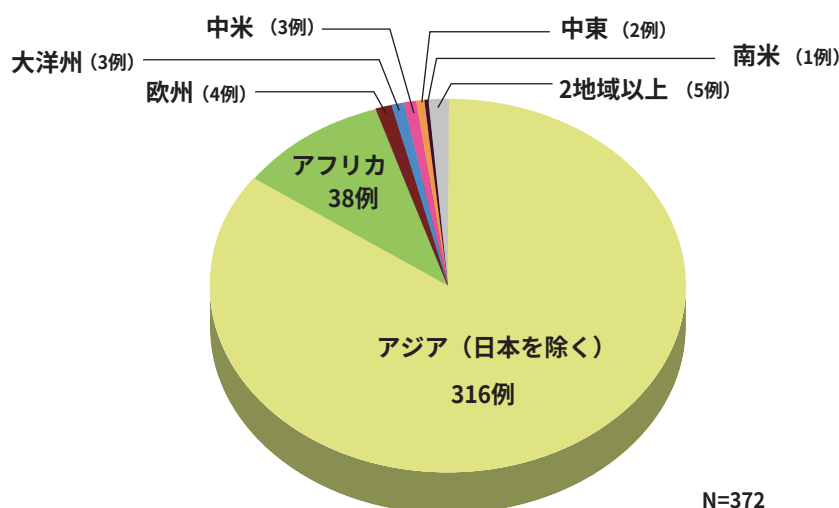


図5. 細菌性赤痢の国外感染例の感染地域分布(2006年)

赤痢菌は腸管出血性大腸菌と同様に、微量の菌により感染が成立するため、感染が拡大しやすく、健康被害も生じやすい。特に小児や高齢者では重症化しやすいので注意が必要である。近年日本で発生している細菌性赤痢の大半は国外感染であり、国内感染についてはそれらの国外感染者からの二次感染や輸入食品の汚染によることが推測されている。感染予防策としては、十分な加熱調理や石鹼による手洗いの励行が基本であり、流行地へ渡航する場合には生水、氷、生の魚介類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要である。さらに二次感染を防ぐためには、患者や無症状病原体保有者を早期に探知して治療し、排菌しなくなったことを確認する必要がある。

(補)細菌性赤痢はサルの間にも感染がみられ、ヒトへの感染源となり得るため、2004年10月1日施行の感染症法施行令の改正により、細菌性赤痢のサルを診断した獣医師に届け出が義務づけられた。2004年には報告がなく、2005年に5都道府県から45例、2006年も5都道府県から45例の報告(2007年3月31日現在)があった。報告されたサルはすべて輸入後の検疫(法定検疫及び自主検疫を含む)によって発見されたものである。

(注)感染症法改正により、2007年4月1日から、コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフスは、腸管出血性大腸菌感染症と同じ三類感染症に変更され、患者および無症状病原体保有者が届出対象(疑似症患者は対象外)である。

表. 細菌性赤痢の感染地域・感染国別にみた菌種別報告数(2006年)(N=477)

地域・国名		<i>S. dysenteriae</i> (N=7)	<i>S. flexneri</i> (N=98)	<i>S. boydii</i> (N=5)	<i>S. sonnei</i> (N=367)
国内		0	26	1	74
国外		7	70	4	291
アジア	アジア(日本を除く)計	4	49	3	260
	インド	1	26 (28)	1	81 (84)
	インドネシア	1	5	1	33
	韓国	1	1		2
	カンボジア		1		21 (22)
	シンガポール				1 (8)
	スリランカ				3
	タイ	0 (1)	3 (4)		14 (16)
	中国		4 (5)		47
	ネパール		1		12
	パキスタン				3
	バングラデシュ			1	
	フィリピン				7
	ブータン				1
	ベトナム		1		15
	香港		0 (1)		
	マレーシア				3 (10)
	ミャンマー	0 (1)	2		2
	モンゴル		2		1
	ラオス				3
アフリカ	アフリカ計	2	15		21
	エジプト	1	6		14
	ケニア				1
	タンザニア	1			
	マダガスカル		7		1
	マリ				1
	南アフリカ		1		
	モロッコ				4
	西アフリカ(国名不明)		1		
欧州	欧州計	1			3
	ウズベキスタン	1			1
	グルシア				2
大洋州	大洋州計		2		1
	ニューカレドニア				1
	パプアニューギニア		2		
中東	中東計			1	1
	イエメン			1	
	カタール				1
中米	中米計		1		1
	メキシコ		1		1
南米	南米計		1		1
	エクアドル		1		
	ボリビア				1
その他 (上記2地域 以上)	その他計		2		3
	アジア/アフリカ		1		1
	アジア/欧州				1
	アジア/中東				1
	アフリカ/中東		1		
国内外不明		0	2	0	2

* 国毎の数値において、()外の数値はその国のみを感染地とする報告数、()内の数値はその国のみとその国を含む複数国を感染地とする報告数の合計を表示している。

* 疑似症患者を除く。

◆麻しん家族内感染事例とその対応—堺市

1999年12月、堺市で始まった麻しんの流行は大阪府内および全国に拡大した。この事例を教訓に、2003年9月、堺市小児科医会と本市感染症情報センターが連携して感染症発生動向調査を強化するため、市内小児科医療機関における麻しん全数報告が始まった。

この制度の実施後の麻しん確定症例は、2003年19例、2004年3例、2005年2例となり、2006年には麻しん発生は0件となった。しかし、2007年3月に成人麻しんを発端とする家族内感染があったので、その詳細を報告する。

患者発生状況

症例1：第12週に発生した成人麻しんは、27歳男性で、3月17日(土)発熱し、3月18日(日)市内基幹定点A病院を受診した。インフルエンザ迅速診断は陰性で帰宅した。翌日解熱し東京へ出張する。3月20日(火)午後、全身発疹、発熱、咽頭痛、咳の症状があり都内B病院を受診した。3月22日(木)帰阪後も症状は改善されず再度A病院を受診、麻しんと診断され自宅で経過観察となった。しかし、摂食困難となり市内C病院を受診、麻しんと確定診断され大阪市D病院へ入院した。

症例2：第14週に発生した麻しんは、上記症例の第三子、生後4カ月女児である。4月1日(日)微熱(37.7℃)、発疹があり、4月2日(月)に市内小児科定点E医院を受診した。発熱(39.5℃)、コプリック斑とともに軽度の発疹が認められ、麻しんと診断された。4月3日(火)には39℃の発熱とともに咳嗽、鼻汁、発疹の増強、眼球充血がみられた。4月4日(水)に発疹はさらに増強したが、夜には解熱、4月6日(金)には色素沈着が認められた。

抗体検査結果および病原体検出結果

症例1：3月22日A病院採取検体は、抗麻しん抗体はIgM 3.61、IgG 5.1であった。翌3月22日C病院採取検体は、抗麻しん抗体はIgM 5.49であった。なおウイルス分離状況は不明である。

症例2：4月2日採取検体は、抗麻しん抗体はIgM 2.47、IgG 陰性であった。国立感染症研究所ウイルス第三部において、咽頭ぬぐい液から麻しんウイルスが分離された。

感染経路

症例1の感染経路は不明であるが、堺市西区在住で、発症日の3月17日～3月23日までの自宅経過観察中の1週間に市内病院を3回、東京出張に伴い都内病院を1回訪れている。患者を診察した市内A病院とC病院はともに一般患者から隔離した状態で診療し、二次感染予防に配慮した。家族は妻と3姉妹である。妻は幼児期に麻しんに罹患の既往があり、長女と次女はワクチン接種歴がある。症例2は、症例1の三女で4月1日に発症した。麻しんの潜伏期間は1～2週間であることから、父親からの家族内感染の可能性が強く示唆された。

堺市医師会小児科医会の対応

小児科医会、内科医会の会員全員にファックスで麻しん発生情報を送信した。

第1報(4月2日)は、症例1の症状、受診病院、行動状況の説明で、さらに疑いの患者が発生した場合の行動履歴、予防接種歴を調査し、麻しん全数報告のための「麻しん患者調査票」の提出、抗体検査の実施のお願い等を送付した。第2報(4月3日)は症例1の詳細な情報、症例

2の家族の麻しん罹患歴および予防接種歴等を送信してさらに注意を喚起した。第3報(4月13日)は症例1と症例2の抗体検査結果および症例2よりウイルスが分離され、さらに少なくとも堺市内における二次感染および三次感染の危険性が回避された旨を送信した。

堺市保健所の対応

症例1が大阪市内のD病院へ入院したため、当該保健所から大阪市保健所に対し、詳細な患者情報と行動範囲の広がったことを伝達し、注意喚起を行った。

まとめ

本市が2003年より実施してきた麻しん全数報告事業は成果を上げ、2006年は確定症例が0件となった。その間、麻しんの疑い患者が発生するたびに「麻しん患者調査票」が本市感染症情報センターへファックスされ、定点医療機関を通じて保育所および学校に注意情報を発信してきた。しかし、2007年3月に成人麻しんが報告され、その患者の生後4カ月の三女が家族内感染する事例が発生した。症例1の27歳男性は感染力が最も強いカタル期に東京出張を行い、入院するまでの1週間に医療機関4カ所で受診を繰り返していた。この行動履歴を重視した本市感染症情報センターは、保健所を通じ近隣市へ注意を呼びかけ、二次感染の回避を図った。また、当センターは情報発信の中継所となり、学校保健への情報提供、市内医療機関へ情報を提供するとともに、麻しん感染の疑い患者発生時のウイルス分離も含めた検体採取方法の指導を行った。一方、堺市医師会小児科医会は市内の全小児科および内科に対し、ファックスにて数回にわたり詳細な情報を発信、麻しん流行に対する注意喚起を行った。

折りしも、関東地方で多数の麻しん患者が報告され、また、大阪府内でも本年当初から散発事例が相次いで報告されている。幸い現時点では集団発生には至っていないものの、危機意識を高めるに十分な状況と考える。

麻しんは初期対応が非常に重要な感染症である。今回、本市で発生した事例の対応は、2003年から行ってきた麻しん患者全数把握が基盤となり、早期対応、迅速な感染拡大防止の路線上での対応である。

正確な情報を発信するためには、麻しんの確定診断は基本である。ウイルス分離は困難な場合が多いが、IgM 抗体測定や、RT-PCR法による遺伝子検査が比較的容易となっている。しかし、非流行期の麻しん確定診断は、臨床症状のみならず、非特異的反応もみられるIgM 抗体の測定・診断には慎重さが求められる。これらの点を加味しつつ、今後も本市医師会、保健所および感染症情報センターが情報を共有して二次感染防止に取り組むことが重要と考える。

さらに、麻しんのみならず、その他の感染症に対しても、同様に対応していきたいと考えている。

堺市衛生研究所

狩山雅代 野口秀樹 吉田永祥 内野清子 三好龍也 松尾光子 田中智之
堺市保健所医療対策課 藤井史敏
堺市医師会小児医会 阪本瑠子 武内 一 片桐真二 西垣正憲
国立感染症研究所ウイルス第三部 沼崎 啓

(IASR 2007年5月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



感染症の話

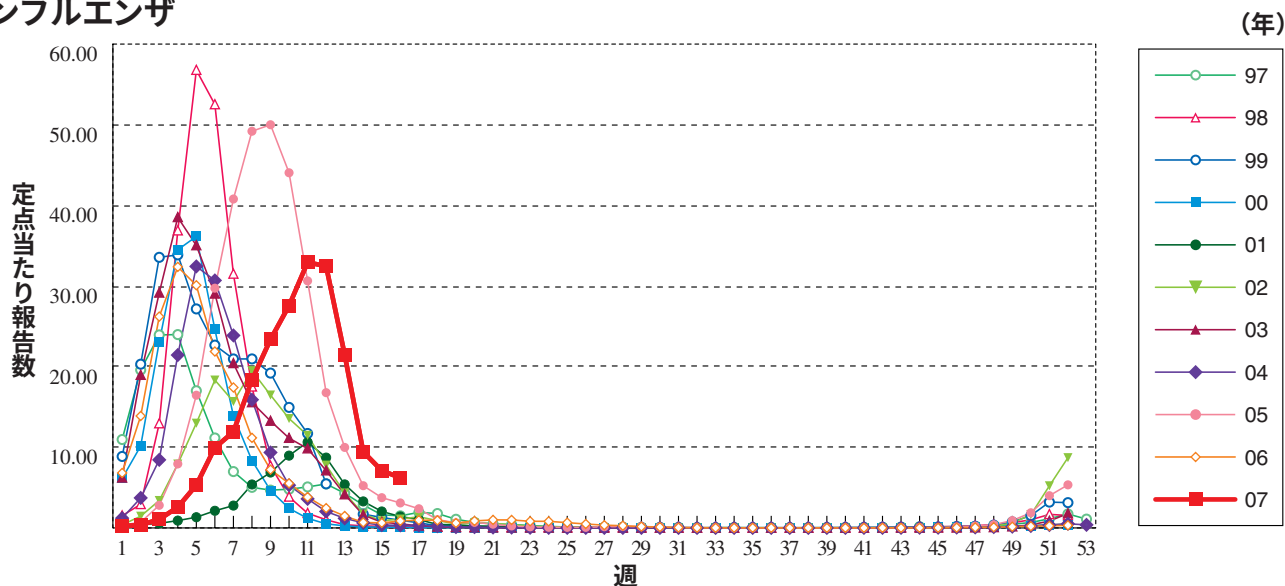
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

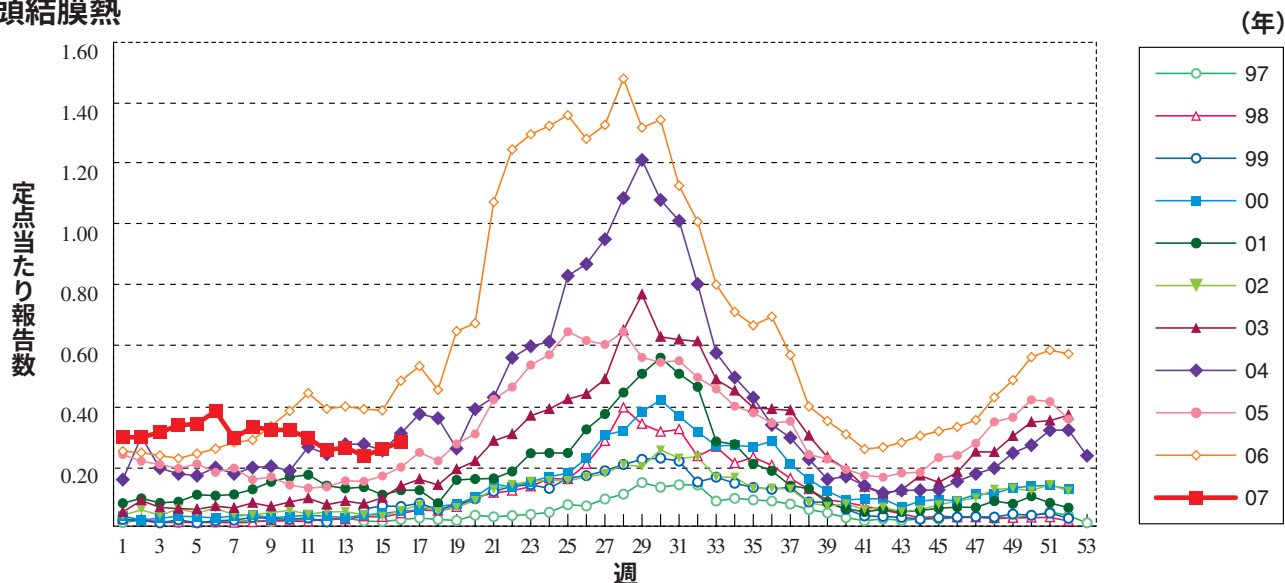


グラフ総覧(16週)

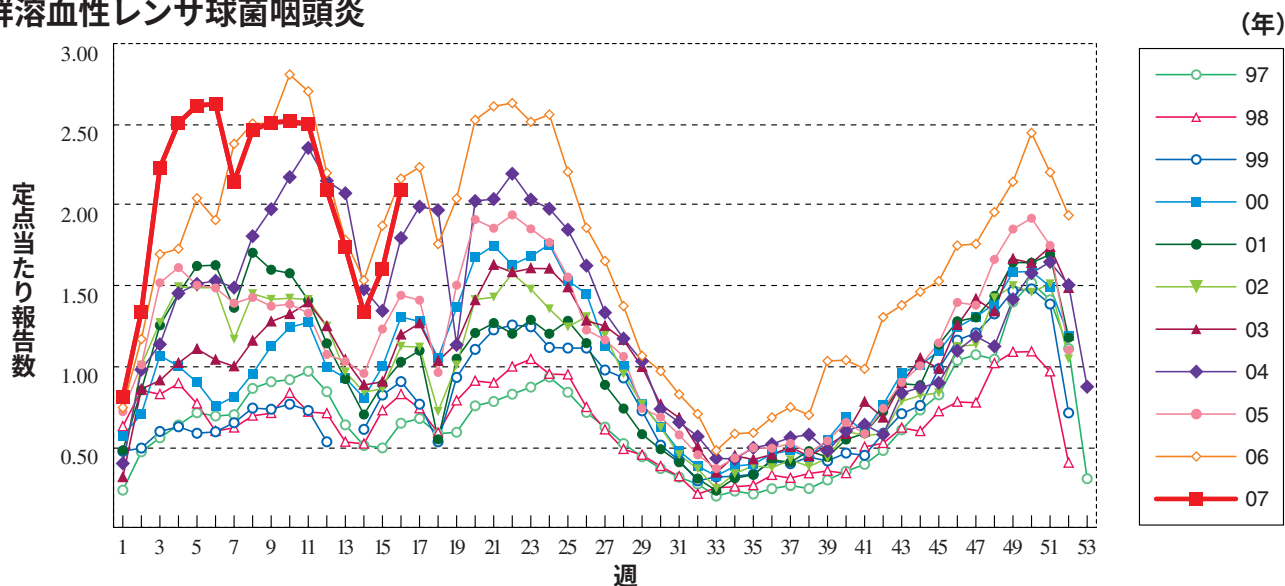
インフルエンザ



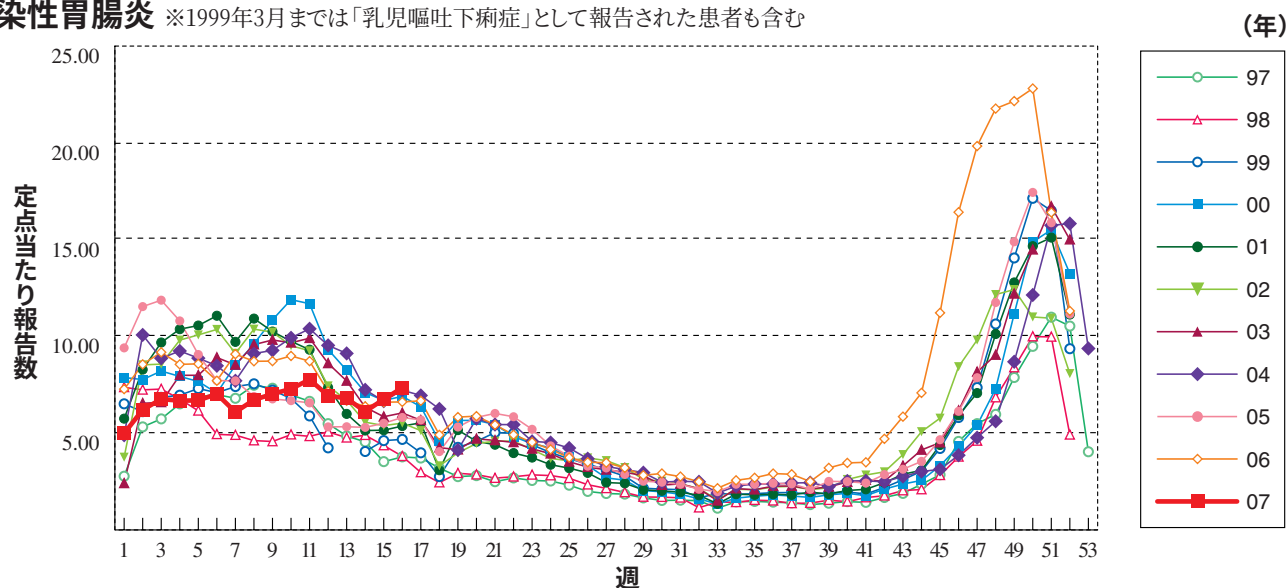
咽頭結膜熱



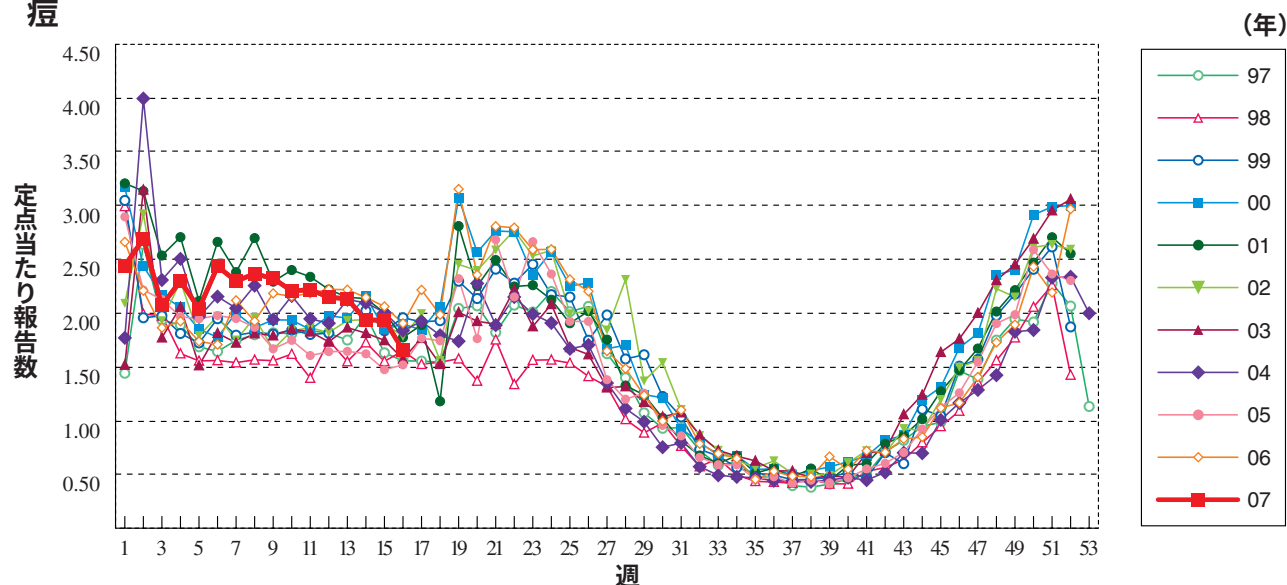
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



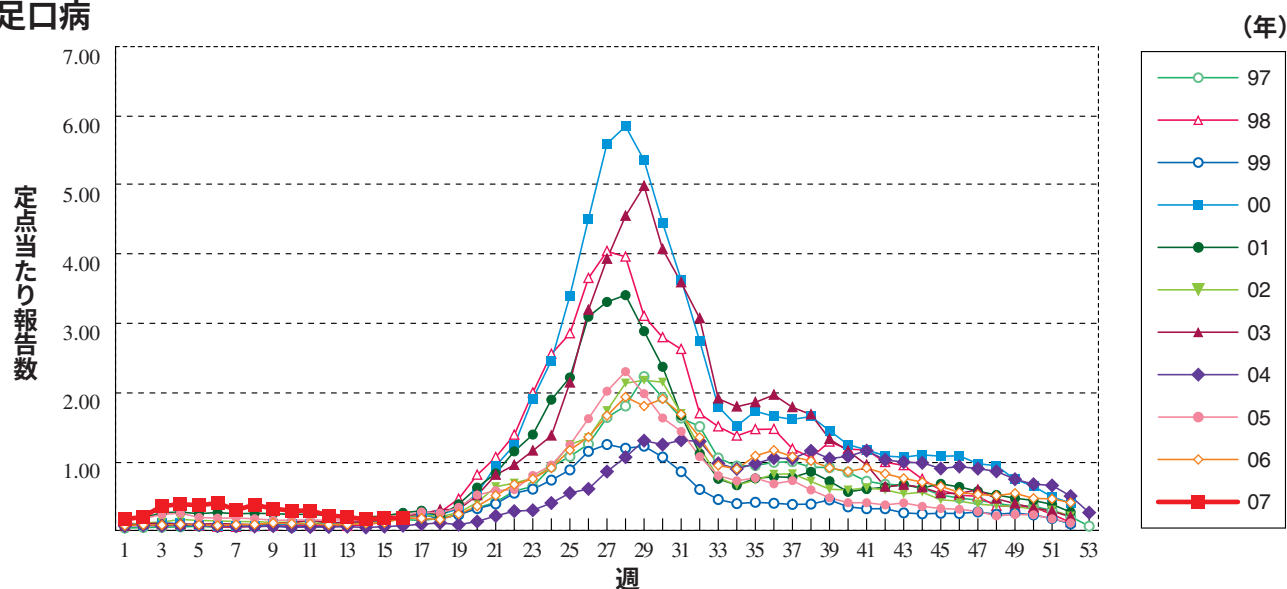
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



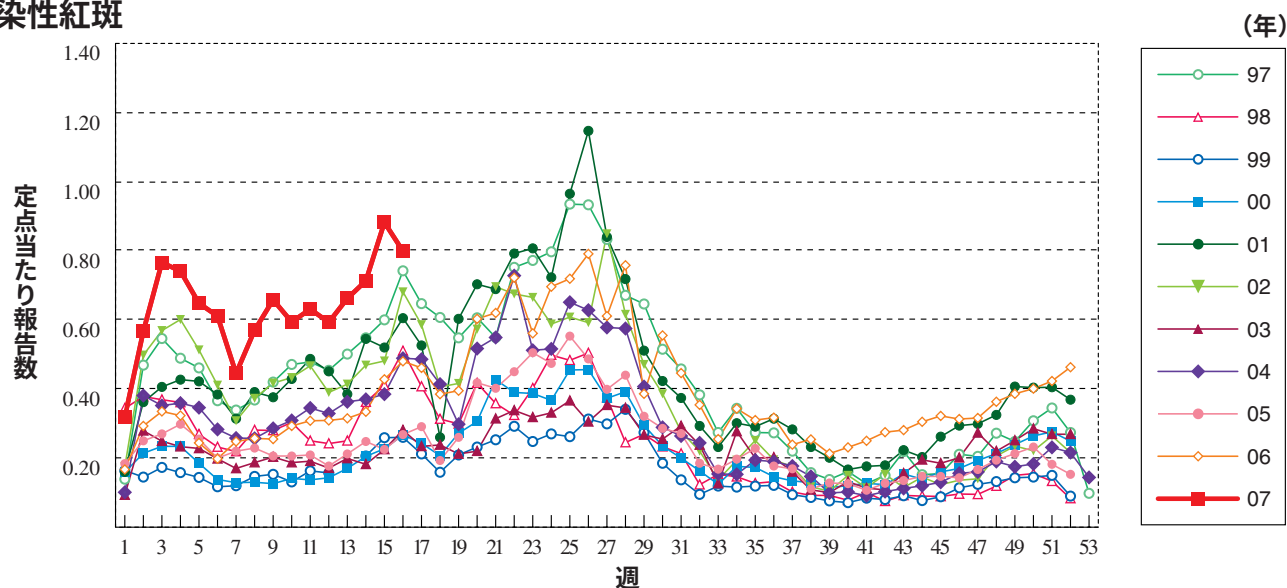
水痘



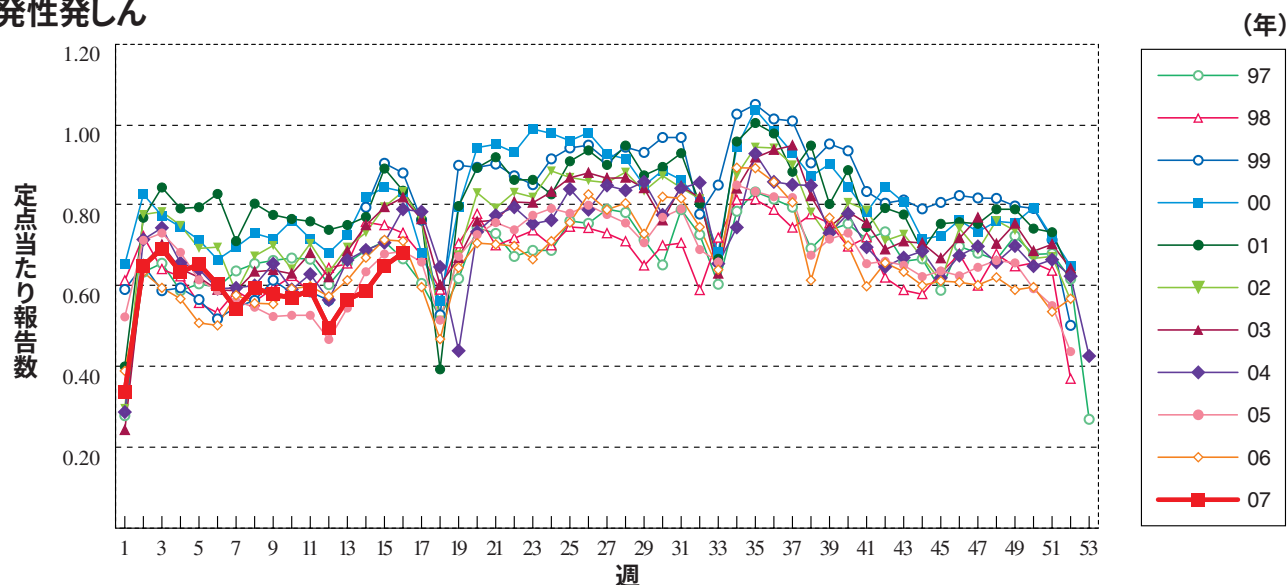
手足口病



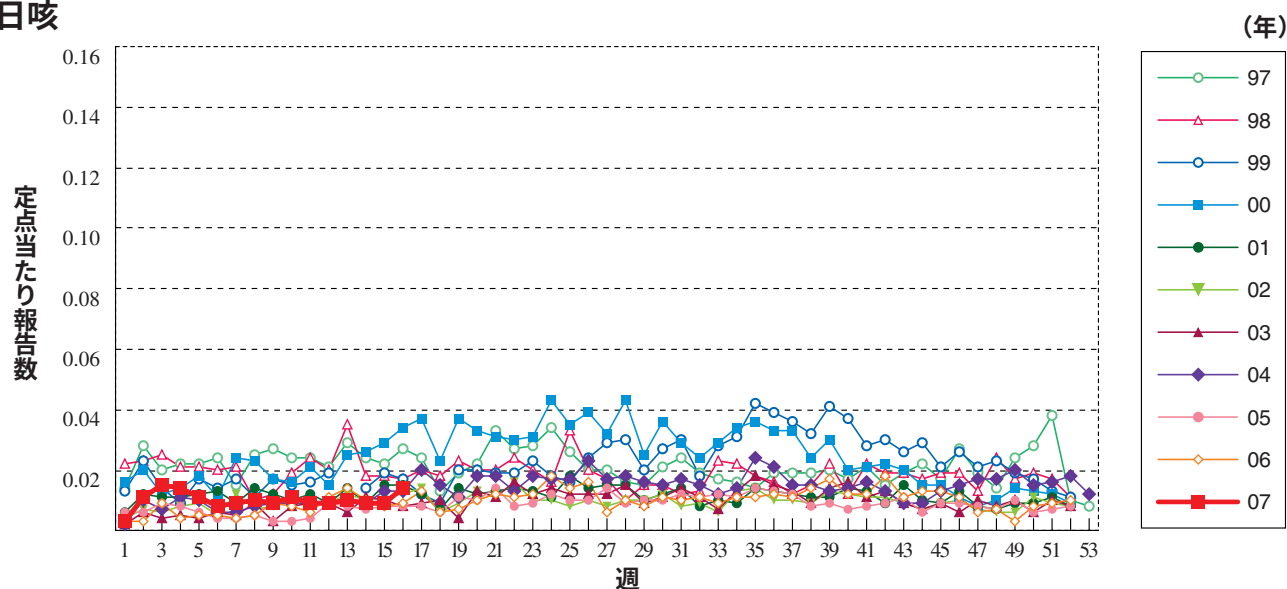
伝染性紅斑



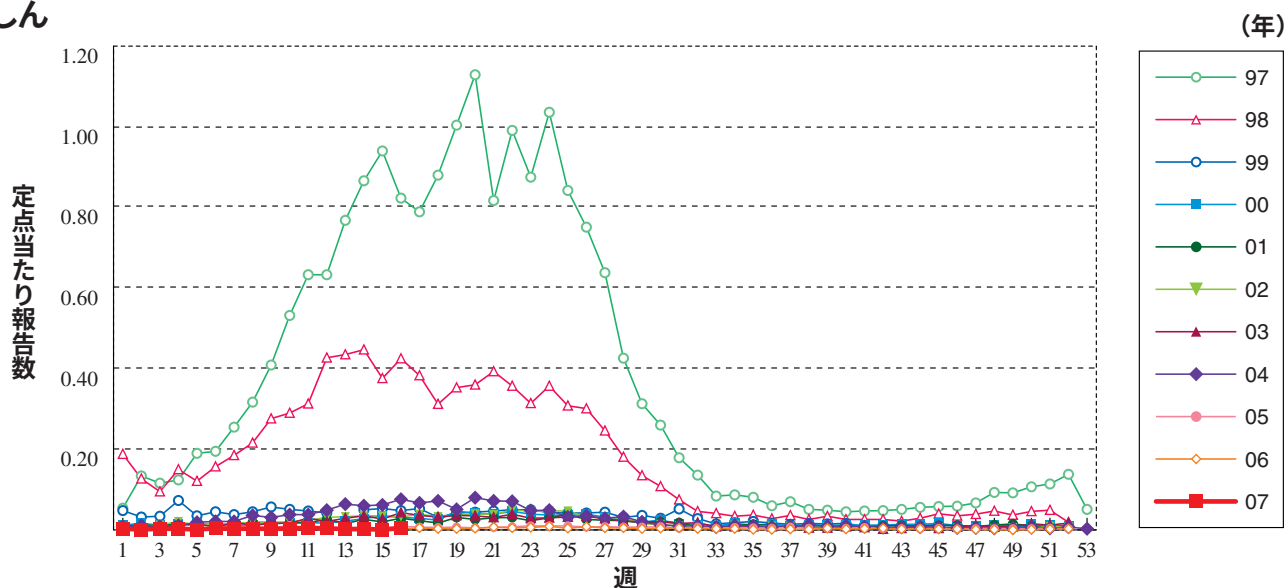
突発性発しん



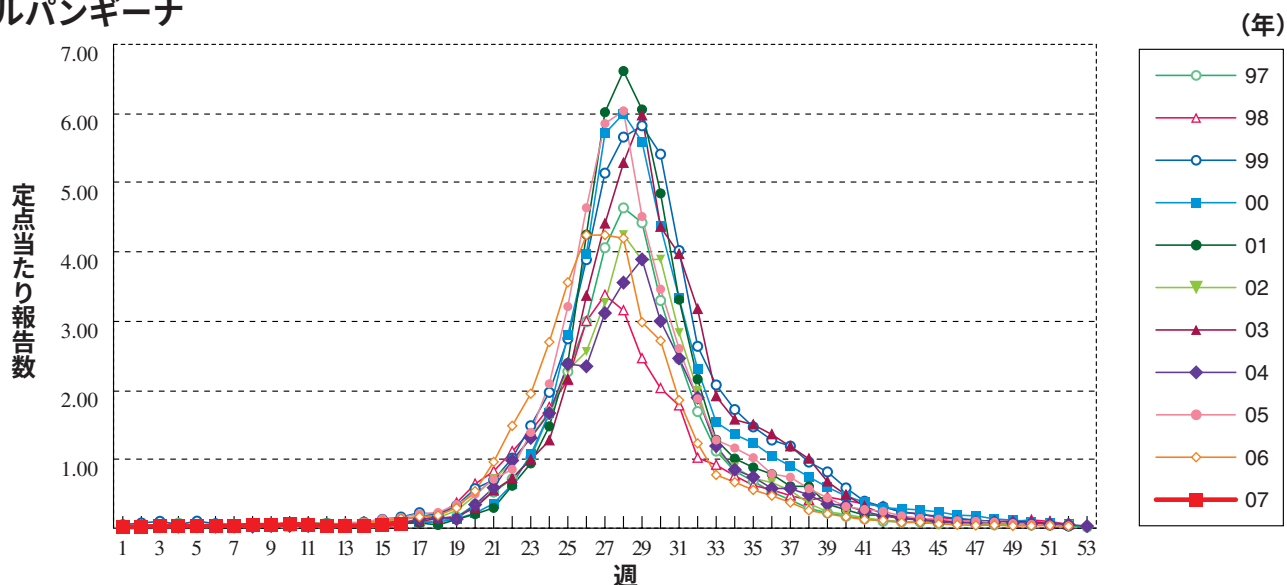
百日咳



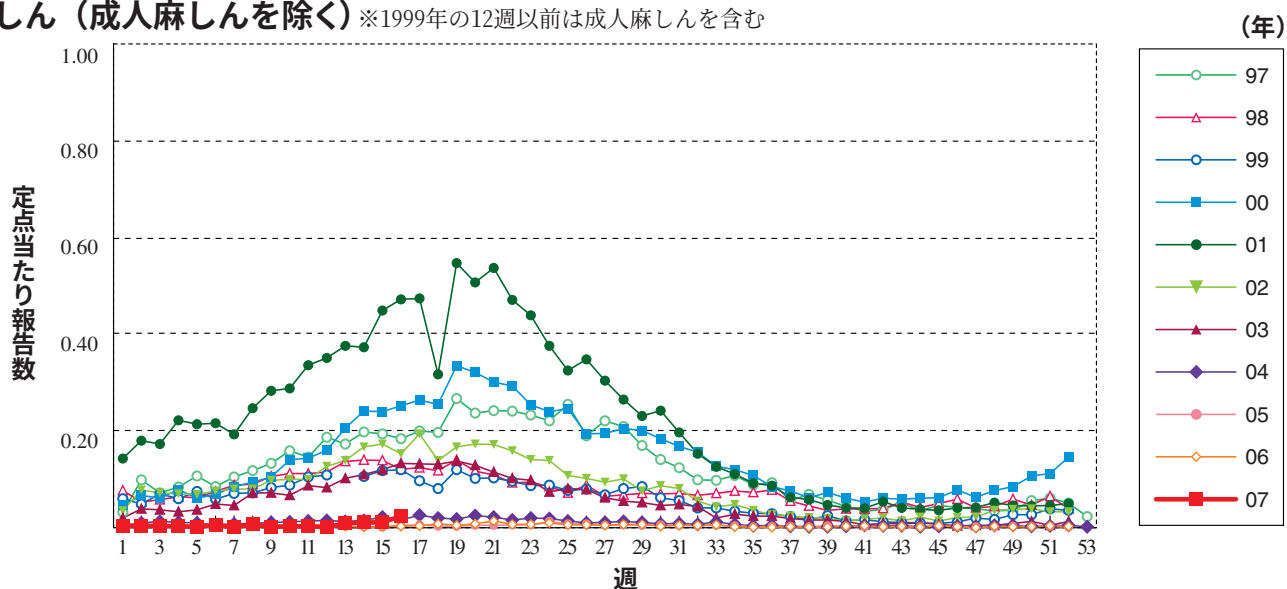
風しん



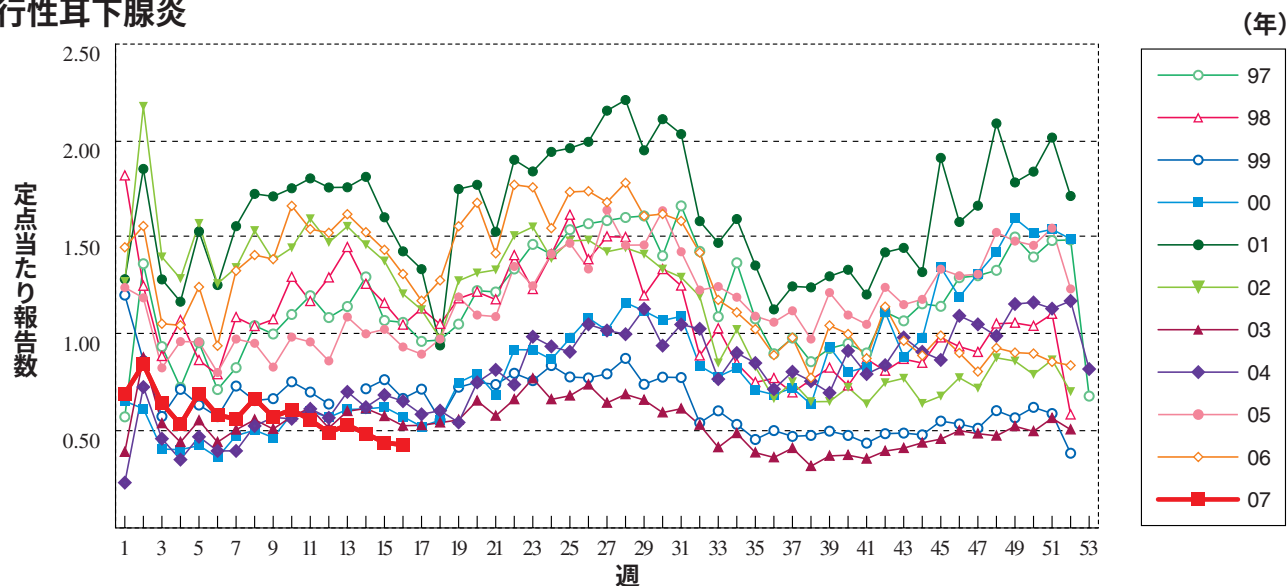
ヘルパンギーナ



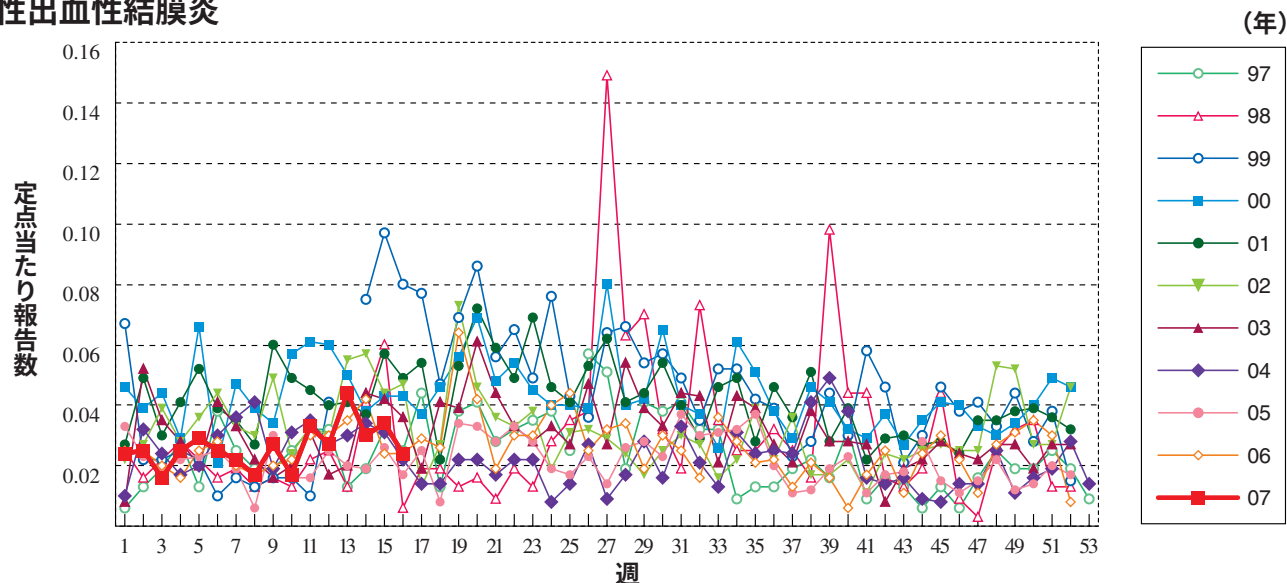
麻しん (成人麻しんを除く) ※1999年の12週以前は成人麻しんを含む



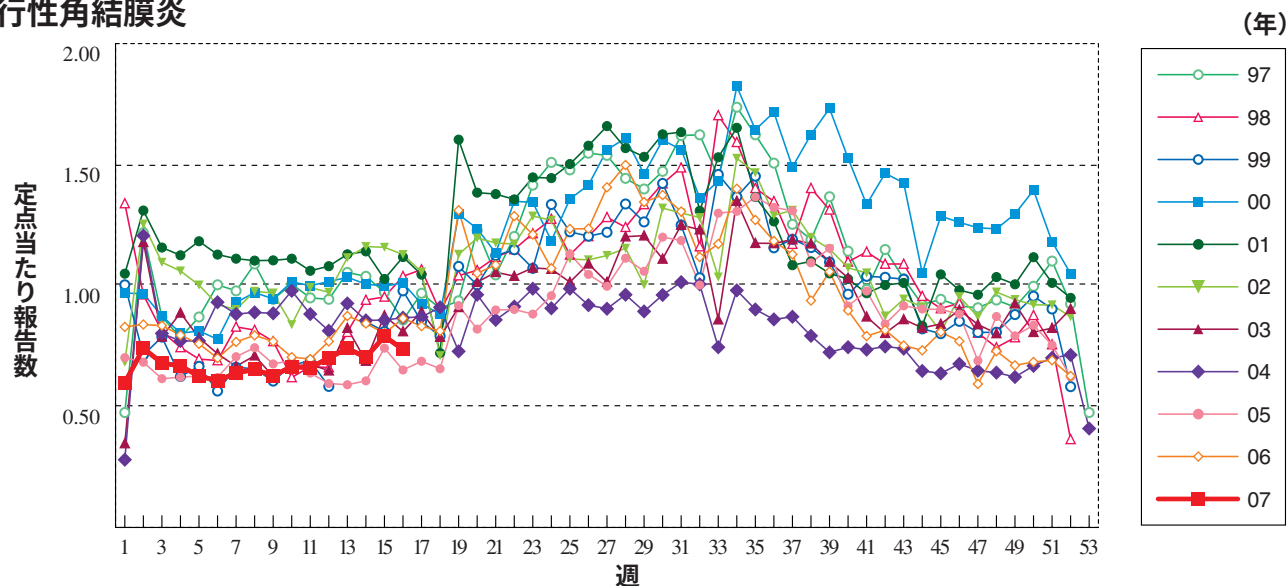
流行性耳下腺炎



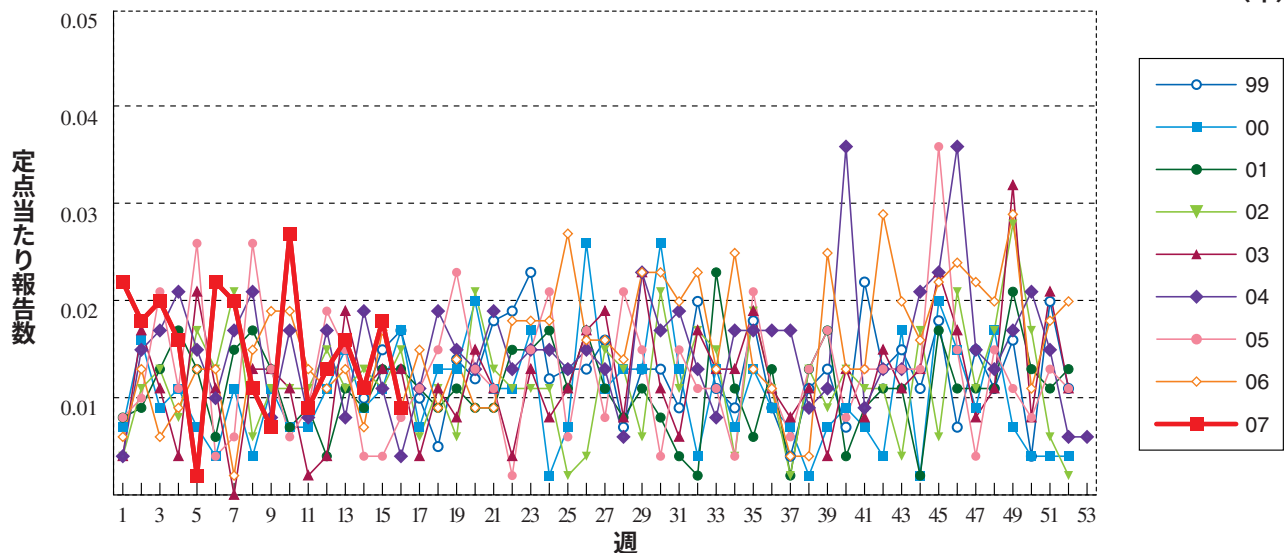
急性出血性結膜炎



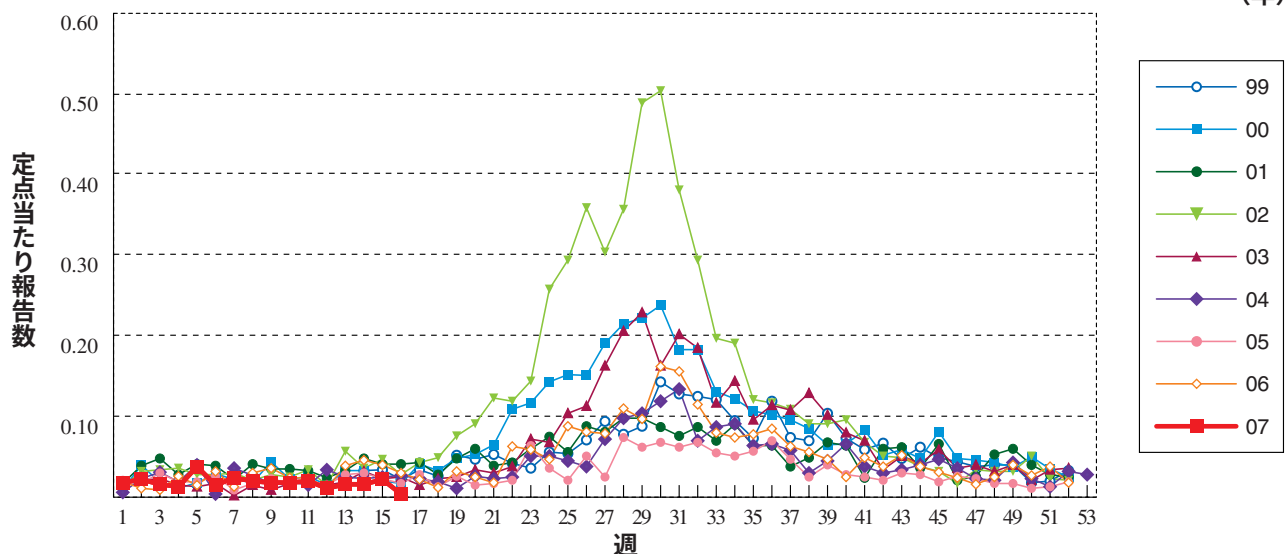
流行性角結膜炎



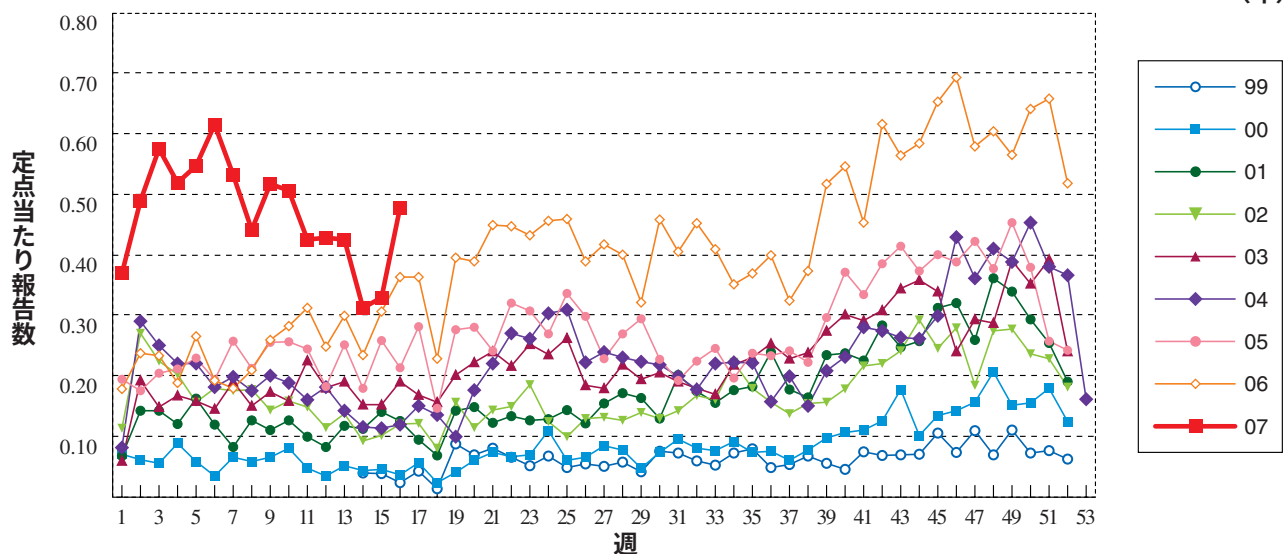
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎

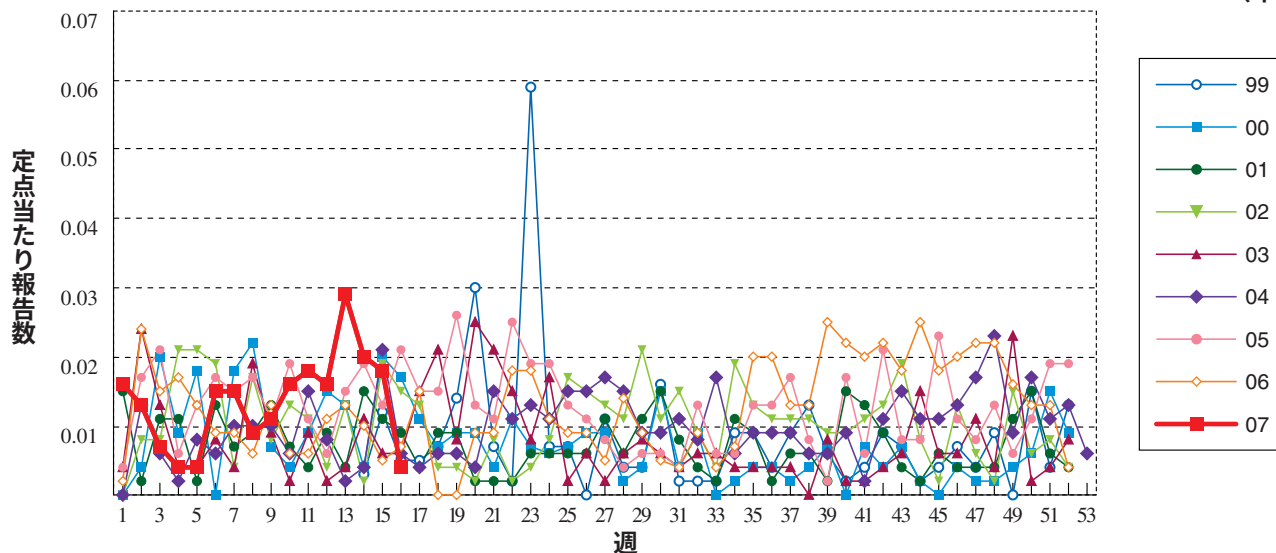


マイコプラズマ肺炎



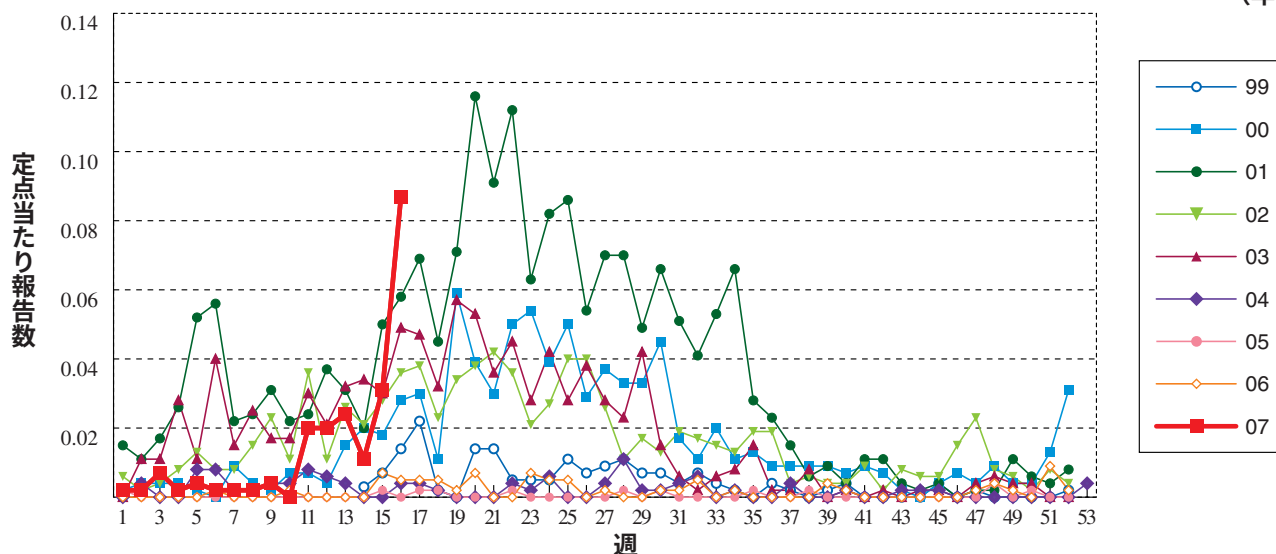
クラミジア肺炎（オウム病を除く）

(年)



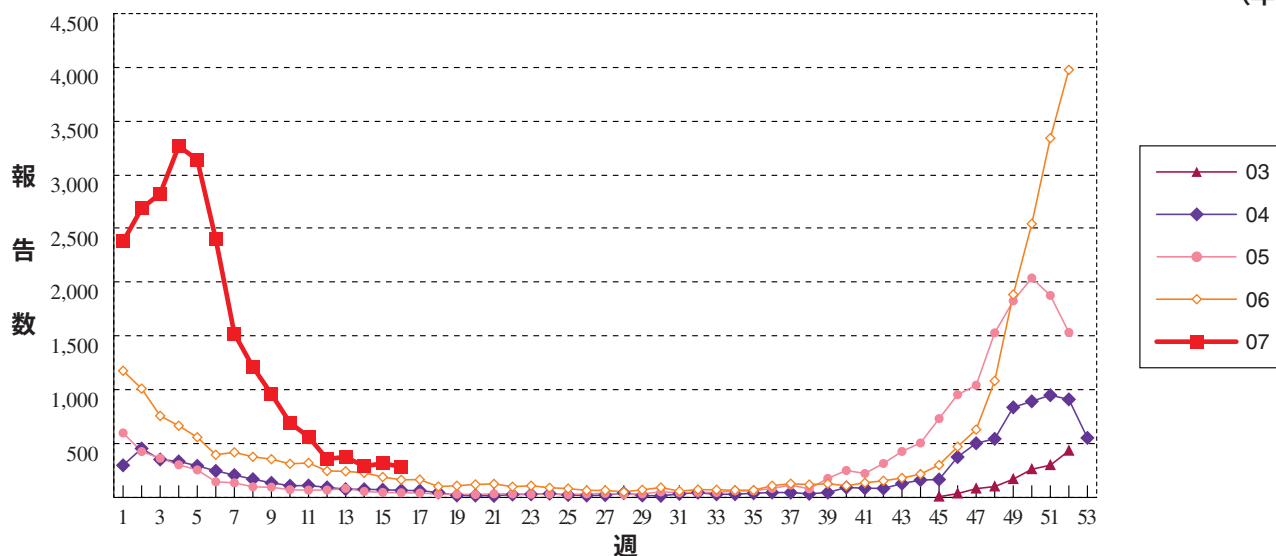
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





16週のデータ

注1) 表中の報告数は4月25日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年16週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	154	555
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	27
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	16
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	39
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	46
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	28
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	18
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	12
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	18
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	26
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	29
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	14
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	32
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	31
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	34
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	21
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年16週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	3	12	159	15	208	1	10	1	5	1	18	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	1	5	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	8	15	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	27	2	10	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	17	2	6	-	1	-	1	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	5	1	7	-	-	1	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	3	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	3	39	1	17	1	3	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	1	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	5	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年16週

	A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回 帰 熱		キャサナル 森 林 病		Q 熱		狂 犬 病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	51	-	5	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
北海道	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	10	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年16週

	コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	3	18	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年16週

	鳥 インフルエンザ		ニパウイルス 感 染 症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年16週

	ヘンドライウイルス 感 染 症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感 染 症		リフトバレー熱		類 鼻 痘	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年16週

	レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	5	109	-	2	-	-	9	221	1	43	1	66	-	1	1	50	-	33
北海道	3	10	-	-	-	-	1	5	-	2	-	-	-	-	-	2	-	5
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	4	14	1	1	-	1	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1
福島県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-	-	1	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4	-	-	-	1	-	2
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	5	-	-	-	8	-	-	-	3	-	1
東京都	-	4	-	1	-	-	-	40	-	12	-	1	-	-	-	2	-	2
神奈川県	1	6	-	-	-	-	1	26	-	-	-	2	-	-	-	1	-	4
新潟県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	3	-	-
富山県	-	4	-	-	-	-	2	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1
石川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	9	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	8	-	-	-	-	-	16	-	1	-	1	-	-	-	2	-	3
三重県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
京都府	-	3	-	-	-	-	-	9	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
大阪府	-	6	-	-	-	-	-	20	-	6	1	10	-	-	1	3	-	2
兵庫県	-	2	-	-	-	-	1	14	-	4	-	3	-	-	-	2	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	2	-	1
山口県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
福岡県	-	4	-	-	-	-	-	8	-	3	-	4	-	-	-	2	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年16週

	後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	17	373	-	13	-	5	-	-	5	140	-	16	-	-	-	21	-	-
北海道	1	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	6	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	8	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	13	-	-	-	-	-	-	1	6	-	2	-	-	-	-	-	-
東京都	-	106	-	5	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	4	-	-
神奈川県	1	31	-	4	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	3	-	-
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	1	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	2	-	-
静岡県	2	16	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-
愛知県	7	42	-	-	-	1	-	-	-	14	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	8	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	50	-	3	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	3	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-
奈良県	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	9	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年16週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	29372	6.22	844	0.28	6309	2.10	22105	7.34	4987	1.66	555	0.18	2406	0.80	2058	0.68	42	0.01
北海道	2618	11.64	20	0.14	561	3.98	402	2.85	137	0.97	7	0.05	307	2.18	79	0.56	1	0.01
青森県	1045	16.08	29	0.69	100	2.38	133	3.17	33	0.79	1	0.02	24	0.57	16	0.38	-	-
岩手県	1140	18.10	1	0.03	50	1.28	95	2.44	36	0.92	6	0.15	42	1.08	16	0.41	-	-
宮城県	770	8.02	14	0.23	96	1.60	366	6.10	73	1.22	3	0.05	89	1.48	65	1.08	-	-
秋田県	1053	19.15	9	0.26	106	3.03	192	5.49	18	0.51	2	0.06	35	1.00	12	0.34	-	-
山形県	403	8.40	19	0.63	109	3.63	353	11.77	41	1.37	7	0.23	32	1.07	28	0.93	-	-
福島県	376	4.70	9	0.19	106	2.21	365	7.60	59	1.23	15	0.31	14	0.29	35	0.73	-	-
茨城県	299	2.60	15	0.20	214	2.85	289	3.85	84	1.12	27	0.36	10	0.13	32	0.43	-	-
栃木県	247	3.38	12	0.26	103	2.19	168	3.57	59	1.26	15	0.32	68	1.45	37	0.79	8	0.17
群馬県	443	4.47	9	0.15	194	3.18	477	7.82	99	1.62	8	0.13	59	0.97	42	0.69	-	-
埼玉県	1035	4.19	54	0.34	444	2.81	1266	8.01	308	1.95	27	0.17	119	0.75	131	0.83	5	0.03
千葉県	570	2.88	37	0.29	304	2.41	593	4.71	213	1.69	16	0.13	136	1.08	86	0.68	10	0.08
東京都	751	2.65	67	0.46	263	1.80	825	5.65	187	1.28	8	0.05	97	0.66	93	0.64	-	-
神奈川県	988	3.21	36	0.18	376	1.92	994	5.07	309	1.58	9	0.05	112	0.57	154	0.79	2	0.01
新潟県	720	7.50	22	0.36	225	3.69	343	5.62	122	2.00	-	-	74	1.21	46	0.75	-	-
富山県	368	7.67	16	0.55	170	5.86	305	10.52	81	2.79	1	0.03	90	3.10	7	0.24	-	-
石川県	465	9.69	18	0.62	104	3.59	239	8.24	48	1.66	-	-	87	3.00	16	0.55	-	-
福井県	243	7.59	11	0.50	65	2.95	402	18.27	36	1.64	2	0.09	26	1.18	19	0.86	-	-
山梨県	200	5.00	-	-	58	2.42	118	4.92	13	0.54	5	0.21	9	0.38	7	0.29	-	-
長野県	681	7.74	13	0.24	77	1.40	429	7.80	71	1.29	5	0.09	85	1.55	29	0.53	-	-
岐阜県	474	5.45	9	0.17	63	1.19	228	4.30	56	1.06	3	0.06	49	0.92	30	0.57	-	-
静岡県	691	5.23	10	0.12	166	1.93	614	7.14	185	2.15	4	0.05	112	1.30	58	0.67	-	-
愛知県	1567	8.04	37	0.20	251	1.38	1360	7.47	300	1.65	9	0.05	108	0.59	115	0.63	1	0.01
三重県	376	5.15	12	0.27	121	2.69	527	11.71	56	1.24	5	0.11	33	0.73	31	0.69	1	0.02
滋賀県	269	5.08	10	0.31	69	2.16	296	9.25	41	1.28	6	0.19	34	1.06	30	0.94	-	-
京都府	316	2.55	5	0.07	70	0.93	557	7.43	51	0.68	5	0.07	34	0.45	33	0.44	3	0.04
大阪府	834	3.14	51	0.27	308	1.63	1847	9.77	311	1.65	15	0.08	119	0.63	142	0.75	2	0.01
兵庫県	848	4.30	28	0.22	169	1.32	1264	9.88	290	2.27	8	0.06	74	0.58	94	0.73	1	0.01
奈良県	176	3.38	13	0.37	33	0.94	377	10.77	33	0.94	1	0.03	33	0.94	16	0.46	-	-
和歌山県	172	3.44	2	0.06	23	0.74	258	8.32	61	1.97	2	0.06	17	0.55	12	0.39	-	-
鳥取県	103	3.55	4	0.21	71	3.74	250	13.16	22	1.16	1	0.05	2	0.11	15	0.79	-	-
島根県	217	5.71	25	1.09	36	1.57	265	11.52	40	1.74	3	0.13	1	0.04	14	0.61	-	-
岡山県	539	6.82	6	0.11	45	0.83	465	8.61	79	1.46	5	0.09	13	0.24	22	0.41	-	-
広島県	899	7.82	29	0.40	124	1.72	496	6.89	81	1.13	7	0.10	24	0.33	36	0.50	-	-
山口県	778	11.11	24	0.49	114	2.33	433	8.84	101	2.06	6	0.12	40	0.82	43	0.88	-	-
徳島県	221	5.53	1	0.05	31	1.48	183	8.71	14	0.67	-	-	11	0.52	17	0.81	4	0.19
香川県	464	9.67	9	0.31	21	0.72	120	4.14	31	1.07	1	0.03	11	0.38	25	0.86	-	-
愛媛県	539	8.84	1	0.03	78	2.11	390	10.54	95	2.57	1	0.03	44	1.19	33	0.89	-	-
高知県	258	5.38	4	0.13	52	1.73	275	9.17	37	1.23	1	0.03	36	1.20	11	0.37	-	-
福岡県	962	4.86	39	0.33	209	1.74	1085	9.04	282	2.35	59	0.49	25	0.21	116	0.97	2	0.02
佐賀県	195	5.00	17	0.74	24	1.04	143	6.22	46	2.00	29	1.26	2	0.09	26	1.13	1	0.04
長崎県	784	11.20	20	0.45	30	0.68	321	7.30	93	2.11	44	1.00	10	0.23	23	0.52	-	-
熊本県	639	7.99	13	0.27	134	2.79	406	8.46	67	1.40	72	1.50	5	0.10	40	0.83	1	0.02
大分県	246	4.24	22	0.61	75	2.08	529	14.69	91	2.53	17	0.47	18	0.50	32	0.89	-	-
宮崎県	761	12.90	16	0.44	108	3.00	540	15.00	188	5.22	27	0.75	5	0.14	46	1.28	-	-
鹿児島県	707	7.60	21	0.38	145	2.59	443	7.91	193	3.45	60	1.07	14	0.25	32	0.57	-	-
沖縄県	922	15.90	5	0.15	14	0.41	79	2.32	116	3.41	-	-	17	0.50	16	0.47	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年16週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	12	0.00	186	0.06	71	0.02	1293	0.43	16	0.02	489	0.74	4	0.01	2	0.00	215	0.48
北海道	-	-	1	0.01	-	-	29	0.21	-	-	23	0.79	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	35	0.83	-	-	4	0.36	-	-	-	-	12	2.00
岩手県	-	-	13	0.33	-	-	30	0.77	-	-	9	0.75	-	-	-	-	12	0.60
宮城県	1	0.02	1	0.02	2	0.03	47	0.78	-	-	2	0.17	-	-	-	-	3	0.25
秋田県	1	0.03	-	-	-	-	52	1.49	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.13
山形県	-	-	-	-	-	-	3	0.10	-	-	8	1.00	-	-	-	-	8	0.80
福島県	-	-	4	0.08	-	-	15	0.31	-	-	14	1.17	-	-	-	-	14	2.00
茨城県	1	0.01	2	0.03	2	0.03	8	0.11	-	-	25	1.67	-	-	-	-	4	0.36
栃木県	-	-	1	0.02	4	0.09	28	0.60	1	0.08	17	1.42	-	-	-	-	9	1.29
群馬県	-	-	1	0.02	-	-	33	0.54	-	-	34	2.43	-	-	-	-	17	2.13
埼玉県	2	0.01	6	0.04	14	0.09	37	0.23	4	0.10	26	0.62	-	-	-	-	15	1.67
千葉県	2	0.02	5	0.04	11	0.09	29	0.23	4	0.13	16	0.53	-	-	-	-	1	0.11
東京都	-	-	15	0.10	14	0.10	27	0.18	-	-	26	0.68	-	-	-	-	4	0.17
神奈川県	4	0.02	4	0.02	10	0.05	56	0.29	1	0.03	52	1.33	-	-	-	-	1	0.14
新潟県	-	-	-	-	-	-	63	1.03	-	-	8	0.73	-	-	-	-	6	0.50
富山県	-	-	-	-	-	-	15	0.52	-	-	6	0.86	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	-	-	-	-	2	0.07	-	-	6	0.86	-	-	-	-	2	0.40
福井県	-	-	5	0.23	-	-	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	6	0.25	-	-	4	0.44	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	6	0.11	-	-	25	0.45	-	-	3	0.27	-	-	-	-	5	0.45
岐阜県	-	-	4	0.08	-	-	11	0.21	-	-	4	0.36	-	-	-	-	4	0.80
静岡県	-	-	8	0.09	-	-	40	0.47	-	-	6	0.30	-	-	-	-	9	1.00
愛知県	-	-	4	0.02	2	0.01	58	0.32	-	-	9	0.26	-	-	-	-	2	0.17
三重県	-	-	1	0.02	-	-	58	1.29	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	1	0.03	-	-	6	0.19	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.14
京都府	-	-	1	0.01	-	-	15	0.20	-	-	5	0.28	1	0.14	-	-	1	0.14
大阪府	-	-	2	0.01	3	0.02	100	0.53	1	0.02	9	0.20	-	-	1	0.08	13	1.00
兵庫県	1	0.01	5	0.04	2	0.02	79	0.62	-	-	17	0.49	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	1	0.03	6	0.17	-	-	1	0.11	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	1	0.03	-	-	13	0.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	10	0.53	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	7	0.30	-	-	13	0.57	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.25
岡山県	-	-	7	0.13	1	0.02	30	0.56	-	-	16	1.33	-	-	-	-	13	2.60
広島県	-	-	12	0.17	-	-	11	0.15	-	-	26	1.37	1	0.05	-	-	12	0.57
山口県	-	-	12	0.24	-	-	6	0.12	2	0.22	3	0.33	-	-	-	-	1	0.11
徳島県	-	-	-	-	-	-	2	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	1	0.03	18	0.62	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	-	-	25	0.68	-	-	29	3.63	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	1	0.03	-	-	35	1.17	-	-	7	2.33	-	-	-	-	2	0.29
福岡県	-	-	17	0.14	-	-	67	0.56	-	-	13	0.50	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50
長崎県	-	-	10	0.23	-	-	6	0.14	3	0.38	7	0.88	1	0.08	-	-	2	0.17
熊本県	-	-	14	0.29	-	-	14	0.29	-	-	13	1.44	-	-	1	0.07	1	0.07
大分県	-	-	5	0.14	-	-	35	0.97	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	3	0.08	-	-	39	1.08	-	-	11	1.83	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	2	0.04	4	0.07	29	0.52	-	-	8	1.14	-	-	-	-	3	0.25
沖縄県	-	-	2	0.06	-	-	23	0.68	-	-	11	1.10	1	0.14	-	-	27	3.86

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年16週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総 数	2	0.00	39	0.09	286
北海道	-	-	-	-	36
青森県	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	4
宮城県	-	-	-	-	5
秋田県	-	-	-	-	6
山形県	1	0.10	1	0.10	1
福島県	-	-	1	0.14	26
茨城県	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	7
群馬県	-	-	2	0.25	-
埼玉県	-	-	5	0.56	-
千葉県	-	-	-	-	7
東京都	1	0.04	12	0.50	9
神奈川県	-	-	3	0.43	6
新潟県	-	-	3	0.25	2
富山県	-	-	-	-	6
石川県	-	-	1	0.20	1
福井県	-	-	1	0.17	4
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	6	0.55	-
岐阜県	-	-	1	0.20	2
静岡県	-	-	1	0.11	3
愛知県	-	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	1	0.08	23
兵庫県	-	-	-	-	29
奈良県	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	15
広島県	-	-	1	0.05	12
山口県	-	-	-	-	8
徳島県	-	-	-	-	4
香川県	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	12
沖縄県	-	-	-	-	16

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

(注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年16週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2007年16週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総 数	-	5
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	1
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	1
大分県	-	-
宮崎県	-	3
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第9巻 第16号 2007年5月11日発行
発 行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

<http://www.mhlw.go.jp/>

<厚生労働省>

<http://www.forth.go.jp/>

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。